



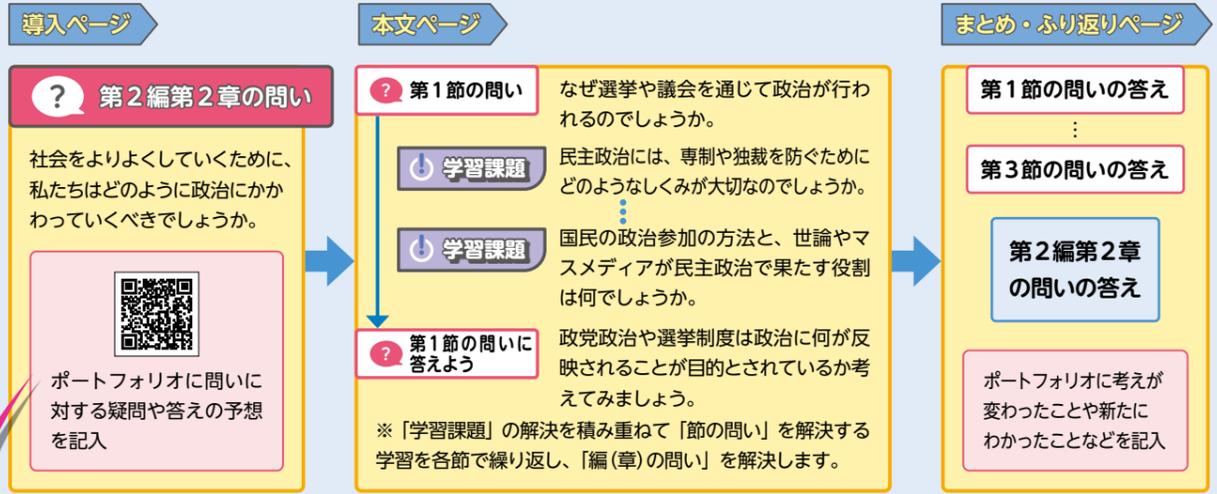
新しい日文の『中学社会』教科書 4つのポイント



個性豊かなキャラクターたちが、生徒とともに学習に取り組むことで、主体的な学びを促します。

1 指導と評価の計画に基づいた教科書

詳しくは本冊子の
こちらへ → 問いの構造 ▶ P.6-7
単元の構造 ▶ P.8-13



● 内容のまとまりでの授業を実現する教科書

- ①導入ページ…単元を貫く問いを立て、学習の見通しをもつ → ②本文ページ…問いを追究する → ③まとめ・ふり返りページ…問いを解決し、学習をふり返る
- ポートフォリオは、生徒の学びの自己調整や、主体的に学習に取り組む態度の評価に活用できます。

3 新しい時代を担う主権者を育てる教科書

詳しくは本冊子の
こちらへ → 考察、構想 ▶ P.20-21
社会参画 ▶ P.22-23
持続可能な社会 ▶ P.24-25

● 自らの人生を主体的に切り拓く力を身に着けられる教材

数年後には成年に達し選挙権を持つことを見ずして、主権者としてこれからの社会を創り出すための力を身に着けられるよう、**多面的・多角的に考察、構想する教材や社会参画を促す教材、自ら課題を設定する課題探究学習**などさまざまな教材を教科書全体を通して幅広く取り扱っています。

2 教科書QRコンテンツが充実した教科書

詳しくは本冊子の
こちらへ → 3つの柱 ▶ P.16-17
公民独自コンテンツ ▶ P.18-19

このほかにも学習内容に応じた個別のコンテンツを多数ご用意しています！
→スライドショー、動画教材、関連資料など

● 系統立てて配置した3つのコンテンツ

- ①ポートフォリオ…導入ページでダウンロードできます。自己の学びの記録を一覧でき、ふり返りに活用できます。
- ②イントロダクションムービー…各節の最初に設定している動画で、学習する内容を見通すことができます。
- ③確認小テスト…本文ページに設定している選択形式の問いで、知識の定着に役立ちます。

4 先生・生徒がわくわくする楽しい教科書

詳しくは本冊子の
こちらへ → 教材例 ▶ P.26-31
学習を進めるうえで役に立つページ ▶ P.32-33

● 生徒の興味を引き、授業設計に役立つ様々な教材

生徒が基礎的・基本的な知識の習得でつまづきにくくなるよう、**抽象的な事象を具体的にイメージできるイラスト教材**を豊富に掲載しています。また、**現代的な諸課題や最新のトピックスに関する教材**を多数掲載しており、生徒が公民的分野の学習に興味をもって取り組むことのできるよう工夫しています。

編集 基本方針

私たちの教科書は、生徒たちを新しい時代を担う主権者へと育てるために、めまぐるしく変化する混沌とした現代社会を生き抜く力をつけ、「公民としての資質・能力の基礎」を育成することをめざして編集しました。

基本方針

1

生徒が主役の 楽しい学び

単元を貫く問いをつかみ、主体的・対話的で深い学びへと導きます。



基本方針

2

社会科授業を 手厚くサポート

生徒は基礎的・基本的な知識・技能が確実に身につき、教師は指導と評価のポイントが一目でつかめます。



基本方針

3

よりよい社会と 豊かな人生の創造へ

持続可能な社会を実現し、豊かな人生を切り拓くための生きて働く力を鍛えます。



目次

新しい日文の『中学社会』教科書 4つのポイント… 2

編集基本方針 …… 4

1 指導と評価の計画に 基づいた教科書

新しい教科書の「問いの構造」… 6
問いを立て、学習を見通す導入ページ… 8
授業や生徒の思考の流れを重視した本文ページ… 10
問いを解決し、学びをふり返るまとめ・ふり返りページ… 12
見開きごとに「見方・考え方」を働かせる工夫… 14

2 教科書 QR コンテンツが 充実した教科書

教科書 QR コンテンツ 3つの柱… 16
公民の学習をサポートするさまざまなコンテンツ… 18

3 新しい時代を担う 主権者を育てる教科書

社会の課題の解決に向け考察、構想する… 20
社会や世界に向き合い、自らの人生を切り拓く… 22
持続可能な社会の実現に向けて… 24

4 先生・生徒がわくわくする 楽しい教科書

最新のトピックスに関する教材… 26
現代的な諸課題を扱った豊富な教材… 28
生徒が楽しく学習できる教材… 30
学習を進めるうえで役に立つページ… 32

学習上配慮した点… 34
分野間・教科間連携… 36
地域事例一覧… 38
学習指導要領との対照表・配当授業時数… 40
観点別教材一覧… 41
教師用指導書のご案内… 42
デジタル教科書・デジタル教材のご案内 日文Webサイトのご案内… 44
教科書検討の観点からみた内容の特色… 46

教育キーワード検索

- 指導と評価の一体化… 6-13
- 内容のまとめり… 6-7
- 単元を貫く問い／問いの構造… 6-13
- ポートフォリオ… 9、13、16-17
- 見方・考え方… 10、14-15
- 主体的・対話的で深い学び… 6-7、14-15、20-21
- 考察・構想… 20-21
- 協働的な学び、個別最適な学び… 16-17
- 小中高の接続… 36-37
- 特別支援教育… 34-35、44
- SDGs・持続可能な社会… 24-25
- ICTの活用… 16-19、44-45
- 自学自習… 16-17
- 現代的な諸課題… 26-29
- 情報活用… 31

新しい教科書の「問いの構造」

新しい教科書では、**問いを構造化**することで**内容のまとまりでの授業**がしやすくなっています。各時間の「学習課題」を積み重ねて「章・節の問い」を解決する構造になっています。教科書の問いに沿って授業を進めていくことで、**主体的・対話的で深い学び**を実現することができます。

導入ページ

単元を貫く問いを立てる

導入ページで、単元を通して追究していく「単元を貫く問い」(章・節の問い)を立てます。

P.38-39

身近な事例を題材としたまんがによって、その章の学習内容に関心をもち、活動を通して章や節の問いを立てたり、学習を見通したりすることができます。



学習課題を追究する

導入ページで立てた問いの解決に向けて、本文ページに設定した各時間の「学習課題」と、それに対応した「確認」「表現」の問いに答えます。

P.40-41

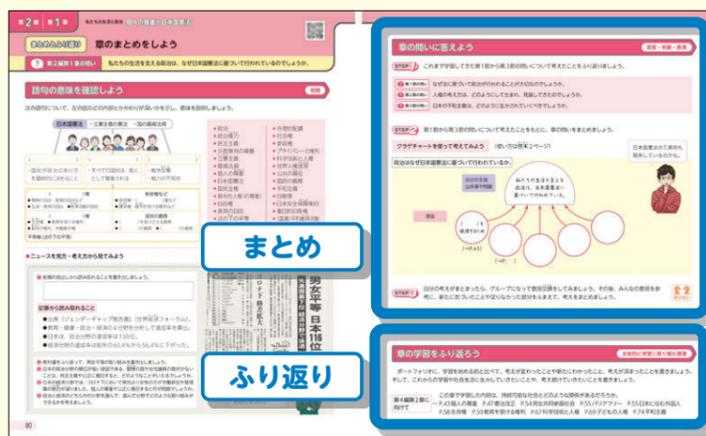


本文ページ

単元を貫く問いを解決し、ふり返る

学んだことをまとめ、「節の問い」について考えたことを手ごかりに「章・節の問い」を解決します。最後に単元の学習をふり返り、次の単元へ進みます。

P.80-81



まとめ・ふり返りページ

第1章 個人の尊重と日本国憲法

? 第2編第1章の問い

私たちの生活を支える政治は、なぜ日本国憲法に基づいて行われているのでしょうか。

注目! 「単元を貫く問い」で、授業をデザインする

内容や時間のまとまりにより構成された授業をデザインすることで、主体的・対話的で深い学びを実現できます。

? 第1節の問い

? 第2節の問い

? 第3節の問い

第1節 法に基づく政治と日本国憲法

? 第1節の問い

なぜ法に基づいて政治が行われることが大切なのでしょう。

1 私たちにとっての政治と民主主義

学習課題 なぜ政治は民主主義によって行わなければならないのでしょうか。

確認 民主主義とはどのような考え方が、本文からぬき出しましょう。

表現 多数決において少数意見の尊重が大切な理由を説明しましょう。

2 法に基づく政治と憲法

学習課題 なぜ立憲主義による憲法は必要なのでしょう。

確認 立憲主義とは、どのような考え方が本文からぬき出しましょう。

表現 民主政治で、法の支配と権力分立が大切な理由を説明しましょう。

3 日本国憲法の制定と三つの基本原則

学習課題 日本国憲法はどのような歴史と特徴をもつ憲法でしょう。

確認 日本国憲法の三つの基本原則を、本文からぬき出しましょう。

表現 日本国憲法が三つの基本原則を採用した理由を説明しましょう。

? 第1節の問いに答えよう

憲法とはどのような法で、何をしばっているのでしょうか。人の支配ではなく、法による支配が必要である理由を、歴史もふまえて考えましょう。

? 第2編第1章の問い

私たちの生活を支える政治は、なぜ日本国憲法に基づいて行われているのでしょうか。

注目! 内容のまとまりで評価ができる

主体的に学習に取り組む態度を含む評価ができる紙面構造です。

章の学習をふり返ろう

主体的に学習に取り組む態度

ポートフォリオに、学習を始める前と比べて、考えが変わったことや新たにわかったこと、考えが深まったことを書きましょう。そして、これからの学習や生活に生かしていきたいことや、考え続けていきたいことを書きましょう。

問いを立て、学習を見通す導入ページ

各章の導入ページは、生徒たちが主役になったまんがによって、各章の学習関心をもたせて、身近な場面から章の学習内容に関する問いを考え、「章の問い」を立てる流れになっています。また、立てた問いの答えを予想することを促して、その後の学習の見通しをもつことができるようになっています。

第1～4編 章の学習

導入ページ

本文ページ

まとめ・ふり返りページ

注目

章と節の問いの関係

「節の問い」を考察することを繰り返して、「章の問い」の解決できるようになっています。



「学習のはじめに」掲載箇所

編章	大単元	タイトル	教科書
1編1章	現代社会	ある日のお買い物	P.6-7
1編2章	見方・考え方	地域の公園づくりに参加しよう	P.24-25
2編1章	憲法	文化祭の出し物を決めよう!	P.38-39
2編2章	政治	政治ってなんだろう?	P.82-83
3編1章	市場経済	ハンバーガーショップから見る経済のしくみ	P.128-129
3編2章	財政	政府の仕事を見つけてみよう	P.170-171
4編1章	国際社会	チョコレート王国	P.188-189

第2編
第1章

私たちの生活と政治 個人の尊重と日本国憲法



学習のはじめに

文化祭の出しものを決めよう!

小学校で学習した内容

日本国憲法 基本的人権 国民主義
平和主義 大日本帝国憲法



どんな学習をするのかな?

もし、話し合いがまま、多数決を行っていたら、文化祭の出しものは何になっていたでしょうか。また、最初から話し合いや多数決を行わず、先生や学級委員の意見だけで、出しものを決めたとしたらみんなは納得できたでしょうか。これらは、個人の尊重や政治の基本的な考え方といった憲法が定める内容とかがわっています。この編では、憲法がこうした内容を定めることで、どのように社会の秩序を守り、私たちの安全で幸福なくらしを保障しているかを学習しましょう。

●この章で主に働かせる見方・考え方
対立と合意 平等と公正 民主主義 法の支配と個人の権利 など

気づいたことを出し合おう

Q1. まんがのなかから、民主主義や人権とかがわかると思う内容を出し合おう。また、どのようにかわる理由を考えよう。

Q2. 話し合いがなければ、学級会の時間は短くできました。時間がかかっても、みんなの意見を聞くのはなぜでしょうか。

みんなで話し合うのは、対立から合意を導くための大切な方法だったね。

先生や学級委員の意見というだけで出しものを決めるのは、私も変だと思うよ。

8コマ目の生徒が言おうとしていた意見は何だったのかな?

第2編第1章の問いを立てよう

学級の話し合いは、この章の学習とどのように関係するでしょうか。出し合った意見から疑問を解決するための課題をまわしましょう。

第2編第1章の問い **私たちの生活を支える政治は、なぜ日本国憲法に基づいて行われているのでしょうか。**

第1節の問い なぜ法に基づいて政治が行われることが大切なのでしょうか。

第2節の問い 人権の尊重とはどのような考え方なのでしょうか。

第3節の問い 日本の平和主義は、どのように生かされていくべきでしょうか。

学習の見通しをもとう

第2編第1章の問いに対する疑問や答えの予想を、ポートフォリオに書きこみましょう。

まとめ(P.81)では、第2編第1章の問いに答えるための活動を行います。この問いを意識しながら、学習を深めていきましょう。

評価

指導と評価の一体化

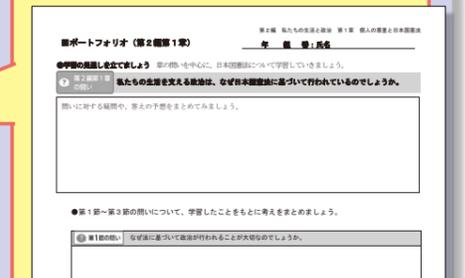
主体的に学習に取り組む態度

4の活動を行い、学習後に改めて自分の考えを書きこむことで、生徒が学習の見通しを立て、学習後に自分の考えの変容をふり返ったり、教師の授業改善につなげたりできるようにしました。主体的に学習に取り組む態度の評価もできます。

注目

ポートフォリオ

生徒の見通しとふり返りの活動に役立つポートフォリオのデータを教科書QRコンテンツとしてご用意しています。



ポートフォリオ(第2編第1章)

資料の活用や、話し合いなどの活動から深く学んでいけそうだね。



1

学習のはじめに ～導入まんが～

章のはじめに、章の学習内容と生徒の生活を結ぶまんがを採り入れることで、学習に取り組みやすくなるように工夫しています。

2

気づいたことを 出し合おう

まんがをふまえて、協働的な学びを行う「学びあい」アイコンを設けて、章の学習への意見や疑問を出し合い、学ぶ意欲を高めます。

3

第○章の問いを 立てよう

2の活動を通して出てきた意見や疑問をふまえて、章と節で追究する問いを立てます。

4

学習の 見通しをもとう

章の問いに対する疑問や答えの予想をポートフォリオに書きこみ、これからの学習を見通します。

1 指導と評価の計画に基づいた教科書づくり

授業や生徒の思考の流れを重視した本文ページ

①指導と評価

②デジタルへの対応

③主権者の育成

④わくわくする教科書

学習上の配慮

分野・教科間連携

地域事例

資料編

本文は原則1授業時間を見開き2ページとし、この1時間で何を学ぶのか、どのようなことに着目して学習を進めるのかを「学習課題」「見方・考え方」で明確に示しました。また、右ページの側注欄には学習課題に対応した「確認」「表現」コーナーを設け、「章・節の問い」に答えるための手がかりとなるように工夫しています。

第1～4編 章の学習

導入ページ

本文ページ

まとめ・ふり返りページ

1 導入資料

本文ページの導入になる資料と、それに関する問いかけを設けています。

関心と意欲を引き出す

2

学習課題

本文ページで何を学んでいくのかを示しています。この課題を考えながら、学習を進めていきます。

学習に見通しをもたせる

注目!

見方・考え方

学習課題の解決に向けて手がかりになる主な「見方・考え方」の例を示しています。



身につけた知識を活用して、学習課題を解決していける紙面になっています。

● 二次元コード

読み込むことでその見開きにある教科書QRコンテンツを参照することができます。見開きタイトルとセットで示しています。→本冊子P.16参照

● タブレットマーク

このマークのついた教材は、二次元コードを読み込んだ先のwebページにある教科書QRコンテンツで、学習を深めることができます。→本冊子P.16参照

注目!

アクティビティ

具体的な事例や資料を読み取り、「見方・考え方」を働かせて、主体的・対話的で深い学びの視点から授業を行うことができます。



SDGsと特に関連する箇所を示しています。

注目!



対話的な活動など協働的な学びに関連した箇所を示しています。

3

本文・図版

十分な文字量を確保し、平易な表現を用いて、生徒の読み取りを支援しました。

丁寧な記述で学習を助ける

4

確認 表現

学習課題に対応し、本文ページの学習を確実にする問いを示しています。学習の最後に取り組むことができます。

1時間の学習をふり返る

● 資料活用

資料を用いた活動を示すことで、必要な情報の読み取りなどの技能を高めることができるコーナーです。

第○節の問い

節のまとめりで追究する問いを1時間の学習でも意識しながら取り組めるよう示しています。

● 連携コーナー

地理や歴史の学習とのつながりを示し、知識を関連づけることができます。

評価

指導と評価の一体化

知識・技能、思考・判断・表現

「確認」は知識・技能、「表現」は思考・判断・表現に対応しており、評価に活用していただくこともできます。

表 家事・育児の負担時間 (社会生活基本調査) 2022年

性別	家事・育児	その他	合計
男性	461分	45分	506分
女性	447分	43分	490分

① 性別にかかわらず選べるようになった中学生の制服 (2021年、高知県高知市) 性の多様性、男女の衣服の固定観念、機能性といった観点から、女子生徒が制服にスラックスを選べるようになってきています。

② 子どもをもつ夫婦の1日の家事と育児の時間 (社会生活基本調査) 2022年) 育児休業取得率は女性85%、男性14%、取得日数は女性10か月以上70%、男性5日未満28%です (2021年)。

③ パートナーシップ制度 (2022年、福岡県) 性の多様性を認め合い、性的指向や性自認にかかわらず、安心して生活できるように、自治体が独自に戸籍上同性のカップルに対して「結婚に相当する関係」として、サービスや社会的配慮を受けやすくする制度です。

4 共生社会をめざして

学習課題 私たちの社会は、平等に関する課題にどのように取り組んでいるでしょうか。

見方・考え方 個人の尊重
性別のちがいが、障がいの有無、国籍のちがいで、個人の尊重に着目して考えましょう。

賛成
● 姓に関する各種の変更手続きが不要
● 結婚・離婚等のプライバシーが保たれる
● 自分の字を失わなくて済む
● 多様な生き方を認められるようにすべき

反対
● 戸籍に基づく制度の見直しが必要になる
● 通称の使用を拡大すれば対応できる
● 日本の伝統文化がなくなる
● 家族としての一体感がなくなる

夫婦別姓 法律で夫婦同姓が定められていますが、日本では夫の姓を名乗ることがほとんどです。しかし、夫婦別姓を希望する人は、法律婚による税や相続などの面で不利な扱いを受けます。資料活用 夫婦別姓について、あなたはどのように考えるでしょうか。

性の多様性を示すことには、SOGIやLGBTなどがあります。(→P.258)

アクティビティ 共生できる社会を考えよう

① ①②③は、どのような人の生活や、使いやすいさへのくふうかを説明しましょう。
② 家庭、学校などから、だれもが共生できる社会にするための提案をグループで考えましょう。

④ ユニバーサルデザインの製品
⑤ 指差しコミュニケーションボード (福岡県糸島市) イラストを指差して意思を伝えます。

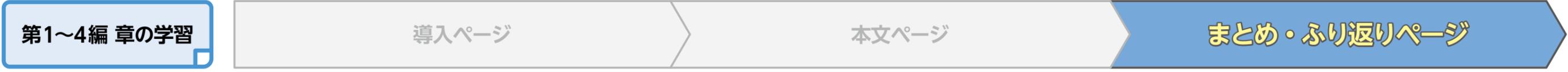
⑥ 合理的配慮の提供
⑦ 障害者差別解消法の具体例

障がいのある人とともにつくる社会
障がいのある人とともにつくる社会は、障がいを理由にした差別を禁止しています。そこで、日常生活のバリア(社会的障壁)を取り除くことを求める障がいのある人がいるとき、国や事業者は、合理的配慮に基づき対応しなければなりません。例えば、公共施設ではスロープをつくって段差をなくしたり、点字や、デジタル機器を使ってコミュニケーション手段を確保したりするバリアフリー化が必要です。

外国人とともにつくる社会
日本には約280万人の外国人が暮らし、170万人をこえる人が働き、日本の社会・経済活動を支えています。その国籍や文化、宗教などはさまざまですが、同じ社会で生活をしているのですから、相互に認め合ってくらす社会をつくる必要があります。そのためには、日本語教育や外国人の子どもへの教育を充実させ、また、労働環境の整備や、健康保険などの社会保障のしくみを改善するなどの環境づくりが不可欠です。社会は、障がいのある人や、性や国籍などが異なるさまざまな人で構成されています。それぞれが、その人らしくくらしをきずいていくことを実現するインクルージョンの社会が求められています。

問いを解決し、学びをふり返るまとめ・ふり返りページ

まとめ・ふり返りページでは、習得した知識を確認した後、「章の問い」に答える活動を行います。
また、ポートフォリオを用いて学習をふり返ることで、学びの自己調整ができるようになっています。



1 知識の確認

単元で学習した内容について、**キーワードに沿って確認**して知識を整理するとともに、知識を定着させることができますようになっています。

知識を評価する

●「知識」をまとめる問い

「語句の意味を確認しよう」で、章の学習全体のしくみ図などを使って知識の整理を行い、「ニュースを見方・考えから見てみよう」に答える形に統一しています。

注目 現実の課題に見方・考え方を生かす

「ニュースを見方・考えから見てみよう」では、実社会で起こった出来事を題材に、社会科で身につけた見方・考え方を生かすことができます。

生徒が学習のふり返りをするだけでなく、先生がどのように評価すればよいかわかりやすい構成になっています。



注目 思考ツールの提案

まとめ・ふり返りページの活動を含めて、教科書内ではさまざまな思考ツールの活用を提案しています。→本冊子P.32参照

また、思考ツールを端末上で操作していただけるコンテンツをwebサイトで公開しています。 サンプルはこちら

第2編 第1章 私たちの生活と政治 個人の尊重と日本国憲法

まとめとふり返り 章のまとめをしよう

2 第2編第1章の問い 私たちの生活を支える政治は、なぜ日本国憲法に基づいて行われているのでしょうか。

語句の意味を確認しよう

次の語句について、左の図のどの内容とかがわかりかを示し、意味を説明しましょう。

日本国憲法 ・立憲主義の憲法 ・国の最高法規

政治権力、民主主義、少数意見の尊重、立憲主義、最高法規、個人の尊重、日本国憲法、国民主権、基本的人権(の尊重)、自由権、表現の自由、法の下での平等、男女共同参画社会

合理的配慮、社会権、参政権、プライバシーの権利、科学技術と人権、世界人権宣言、公共の福祉、国民の義務、平和主義、自衛隊、日米安全保障条約、集団的自衛権、(国連)平和維持活動

●ニュースを見方・考えから見てみよう

新聞の見出しから読み取れることを書き出しましょう。

記事から読み取れること

- 出典「ジェンダーギャップ報告書」(世界経済フォーラム)。
- 教育・健康・政治・経済の4分野を分析して達成率を算出。
- 日本は、政治分野の達成率は139位。
- 経済分野の達成率は前年の60.4%から56.4%に下がった。

2022年7月14日新聞

先通国連下位経済分野で後進 男女平等 日本116位

上位の国々は、どのような取り組みをしているのだろうか。

章の問いに答えよう

STEP 1 これまで学習してきた第1節から第3節の問いについて考えたことをふり返りましょう。

STEP 2 第1節から第3節の問いについて考えたことをもとに、章の問いをまとめよう。

クラゲチャートを使って考えてみよう (使い方は巻末2ページ)

政治はなぜ日本国憲法に基づいて行われているか。

自分の主張 出発点や理由

私たちが生活を支える政治は、日本国憲法に基づいて行われている。

理由

STEP 3 自分の考えがまとまったら、グループになって意見交換をしてみましょう。その後、みんなの意見を参考に、新たに気づいたことや足りなかった部分をふまえて、考えをまとめよう。

政治が日本国憲法に基づいて行われているのは、

この章で学習した内容は、持続可能な社会とどのような関係があるだろうか。

第4編第2章に向けて

- P.43 個人の尊重 P.47 憲法改正 P.54 男女共同参画社会 P.55 バリアフリー P.55 日本に住む外国人
- P.58 生存権 P.59 教育を受ける権利 P.67 科学技術と人権 P.69 子どもの人権 P.74 平和主義

3 学習のふり返り

最後に単元の学習をふり返る活動を設定しています。自らの学びを自己調整したり、変容を見取ったりすることができます。

主体的に学習に取り組む態度を評価する

●主体的に学習に取り組む態度の評価ができる

導入ページから章の学習を通して使ってきたポートフォリオを、評価の資料とすることができます。

→本冊子P.9参照

中学校社会科のまとめのレポート作成に生かせるように、「第4編第2章に向けて」を設けています。



評価 指導と評価の一体化

観点ごとに活動を整理

まとめ・ふり返りページでは、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」それぞれの評価の観点に沿って活動を整理しています。

2 「章の問い」に答える活動

まとめの活動では、思考ツールの提案や、いくつかのステップに分けた活動を提示することで、活動の流れがみえやすくなっています。

思考・判断・表現を評価する

●段階的に問いを考える3つのステップ

STEP 1 節の問いを振り返る。

STEP 2 思考ツールを使い、自分の考えを深める。

STEP 3 意見交換を踏まえて、章の問いに答える。

見開きごとに「見方・考え方」を働かせるための工夫

主体的・対話的で深い学びを実現するために、「社会的な見方・考え方」を働かせることができようように構成しました。本文ページでは、すべての見開きに「見方・考え方」を示し、「アクティビティ」では、アクティブラーニングの視点から、具体的な事例について、資料の読み取りや協働的な学習など「どのように学ぶか」を見すえて、教材を作成しました。

見方・考え方コーナー

すべての見開き本文ページに、学習課題の解決に向けて手がかりになる主な「見方・考え方」の例を示しています。

「見方・考え方」は、すべての見開き本文ページに示しています。
具体的な資料と問いで、見方・考え方を働かせるためには……

現代社会 (公民の学習全体)

- 見方・考え方 効率と公正**
効率と公正の考え方を理解するとともに、公正な社会とはどのような社会なのかを理解しましょう。
P.30 「効率」と「公正」

経済

- 見方・考え方 分業と交換**
流通と情報の関係を、分業と交換に着目して理解しましょう。
P.140 ものの流れと情報の流れ

政治

- 見方・考え方 個人の尊重 法の支配**
刑事裁判のルールを、個人の尊重と法の支配に着目して理解しましょう。
P.106 裁判のしくみと人権尊重

国際社会

- 見方・考え方 効率と公正 持続可能性**
エネルギー構成のあり方を、効率と公正、持続可能性に着目して考えましょう。
P.212 限りある資源とエネルギー

社会的な見方・考え方とは…

課題を追究するための視点や方法(考え方)のことで、現代の社会的な事象を読み解くときの概念的枠組みのことです。公民は、政治、経済、国際社会それぞれで主に働かせる見方・考え方があります。

公民の「見方・考え方」一覧

- 第1編 現代社会 対立と合意、効率と公正 (公民の学習全体にかかわる)
- 第2編 政治 個人の尊重と法の支配、民主主義
- 第3編 経済 希少性、分業と交換
- 第4編 国際社会 持続可能性、協働

注目! **見方・考え方の理解のために**
単元の最初の本文ページで、知識としての見方・考え方を丁寧に学習できる構成です。→本冊子P.10-11

〈例〉政治単元の見方・考え方「民主主義」の本文ページにおける説明



民主主義とは

かつて国王や貴族等が政治を行っていた時代には、少数の人の意見や利益が優先されることがありました(専制政治)。しかし、人々がたがいに協力してより幸せに生活するためには、すべての人が、自由に意見を述べ、平等に政治に参加し、一人一人が公正に尊重されることが必要です。また、さまざまな見方や考え方をもつ人々が議論することにより、よりよい決定を行うことができるようになります。

このようにして、みんなのことはみんなで決めるという考え方を**民主主義**といいます。現在では、多くの国で民主主義に基づく政治(民主政治)が行われています。日本も憲法で、国民が、政治のあり方を最終的に決めること(国民主権)を定めています。

チャレンジ公民 →本冊子P.20-21

章末のチャレンジ公民でも、社会の課題を、見方・考え方を働かせて、考察・構想します

P.218-219 地球温暖化に対する政策について考えよう

アクティビティ

ページの学習内容を具体化するイラストやグラフなどの資料をもとに、「見方・考え方」を働かせる問いを設け、主体的・対話的で深い学びを実現し、思考力・判断力・表現力を養うことができます。

授業におけるアクティブラーニングの支援

アクティビティは、対話的な学び・協働的な学びにつながるグループ活動など、様々な学び方を示して、授業を支援しています。前回教科書より増やして、**41か所**設けています。

学び合いマーク
グループ活動

アクティビティ ビッグデータと防犯カメラ

ビッグデータとは、人々の多様な行動情報を大量に収集したものです。政府や企業は、それらを分析して、社会政策や企業活動に活用します。例えば、防犯カメラの映像から人や車の流れを時間帯ごとに把握してまちづくりに使ったり、さらに個人を識別する技術で犯罪捜査に協力したりできます。一方、こうした情報を個人情報の一部と考えて、プライバシーの権利や肖像権の侵害、監視社会の問題も指摘されています。

①どのような場面で人々の行動情報が収集されるかを考えましょう。なぜその情報の活用がプライバシーの権利の侵害につながるのでしょうか。
②防犯カメラをどのように設置するべきかについて、グループで話し合いましょう。

P.63 社会の変化と人権保障—情報化と人権—

多面的・多角的な視点
しきみの理解を深めながら考える

アクティビティ 所得税と消費税の公正さについて考えよう

①もし所得税と消費税のどちらか一方を必ず増税しなければならぬとしたら、どちらを選びますか。②のグラフや、所得税、消費税について対立する意見を参考に、その理由を「公正」の語句を使って説明してみましょう。

③ 所得税の累進税率 ④ 消費税の逆進性(課税調査) 2021年

所得税に関する意見: 所得が多い人が多く税金を納めるので公正だ。 / 所得が多いからといって多く納税しなければならないのは公正ではない。

消費税に関する意見: 働いていない人も含めてすべての人が納める税なので公正だ。 / 所得の少ない人は負担感が大きく公正ではない。

P.177 政府の活動を支える税と国債

身近な事例

生徒の関心を高める多くの事例

アクティビティ 効率と公正の考え方

①以下の3つの事例について、効率と公正の観点から、適切であるかどうかを考えましょう。
②みんなの考えをもちよって、それぞれの事例が適切かどうかをグループで話し合いましょう。

- 事例① レジのならび方
- 事例② ごみ置き場の決定
- 事例③ 新型コロナウイルスのワクチン接種

P.31 「効率」と「公正」—見方・考え方その2—

注目! 深い学びを実現する「見方・考え方」を働かせる問いを設けました。

資料活用

アクティビティ 公正な選挙について考えよう

小選挙区制: 1選挙区に1人選出
比例代表制: 政党の得票数に応じて、議席配分

政党名	A党	B党	C党
得票数	600票	450票	240票
議席数	2人	1人	—

①で、各選挙制度の死票(落選者に投票された票)は何票ですか。
②で、もし当選者が4人なら、次はどの政党に当選者が出るでしょうか。
③日本の選挙制度がさまざまなしきみを組み合わせて行われている理由を、公正の観点から説明しましょう。

P.87 選挙の意義としきみ

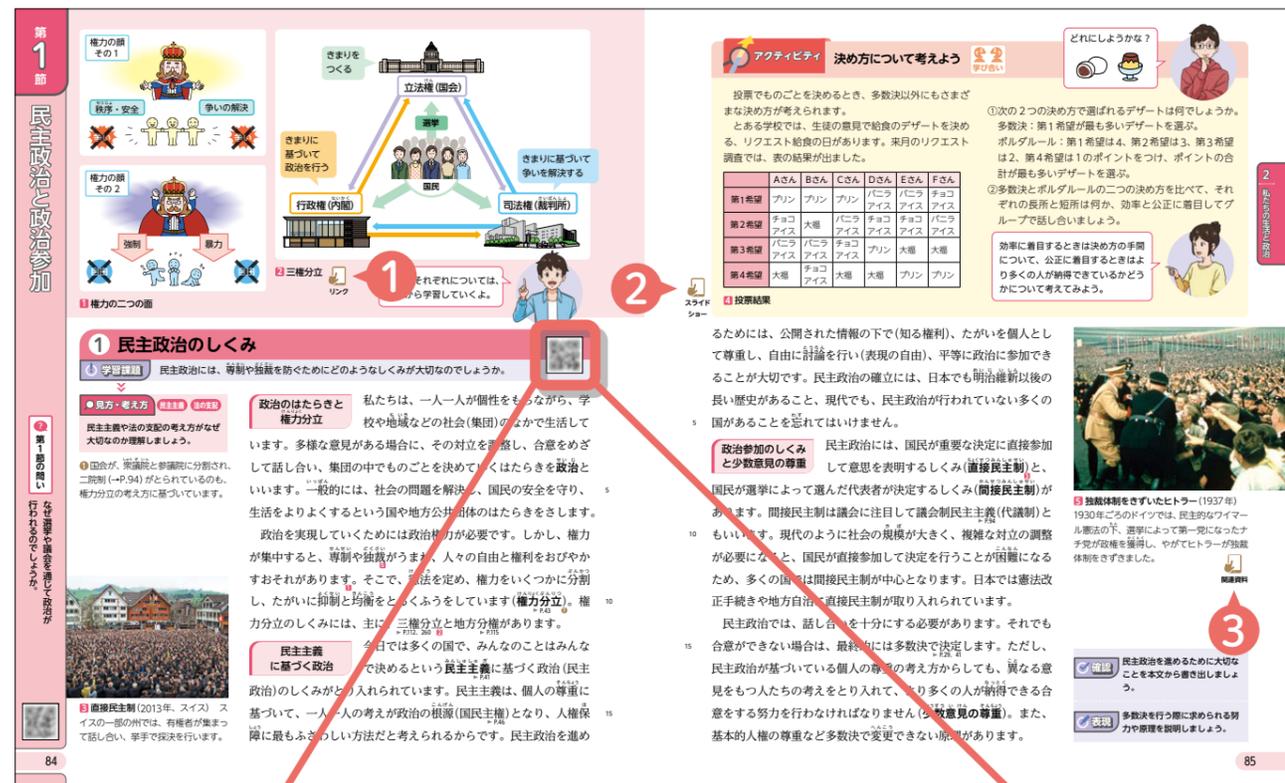
対立する意見から視野を広げる

資料の読み取りから問いを始めるなど、設問を段階的にして、理解を深めながら考えていきます。



教科書QRコンテンツ3つの柱

見開きタイトルの横に掲載している二次元コードを読み取ると、その見開きにあるコンテンツの一覧ページが開きます。コンテンツがある箇所には紙面上にタブレットマークを配置して、どこにどのようなコンテンツがあるのかを示しています。



合計 **277個** のコンテンツをご用意しています。



教科書QRコンテンツ一覧

種別	数	種別	数	種別	数
イントロダクションムービー	15	ポートフォリオ	28	外部リンク	64
その他動画	17	確認小テスト	84	(うちNHK for School)	(57)
スライドショー	27	ワークシート	3	関連資料	36
凡例別表示	3				

内容のまとまりでの授業を支援したり、個別最適な学びを実現したりするために、教科書全体を通して「ポートフォリオ」「イントロダクションムービー」「確認小テスト」の三つのコンテンツを系統的に設定しました。家庭学習でも利用でき、生徒の自学自習を支援します。

1 ポートフォリオ

生徒の学習履歴を記録するコンテンツです。生徒の考えの変容を見取ることができるため、**学びの自己調整に役立ちます**。また、「主体的に学習に取り組む態度」の評価に活用することもできます。Word、PDF、Googleドキュメントの3種類のデータをご用意しています。印刷して紙で運用していただくことも、タブレット端末上で運用していただくこともできます。

第2編第2章 国民民主権と日本の政治 (P.82-127)

2 イントロダクションムービー

1本1分程度の長さで、すべての節の最初のページに設定している、教科書完全準拠のオリジナル動画コンテンツです。節の学習の見通しをもらったり、「節の問い」を立てたりする際に役立ちます。

第2編第2章第1節 民主政治と政治参加 (P.84-93)

3 確認小テスト

主に重要語句について4択問題で確認できるコンテンツです。本文ページに設定しており、知識の定着に役立ちます。まとめ・ふり振り返りに設定している確認小テストは単元全体の問いをランダムに出題します。テスト前の確認にも活用できます。

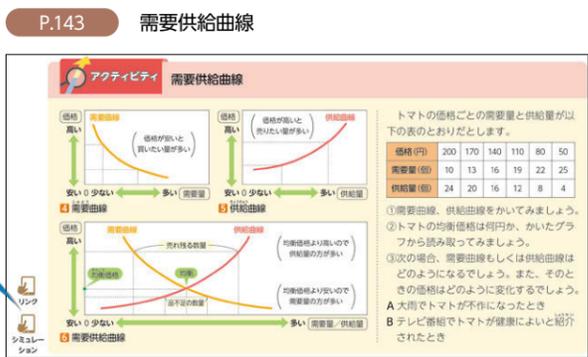
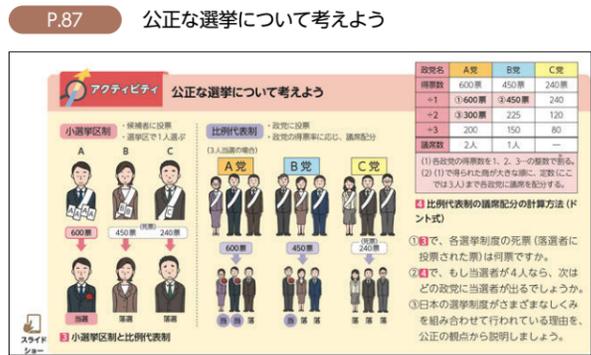
民主政治のしくみ (P.84-85)

公民の学習をサポートするさまざまなコンテンツ

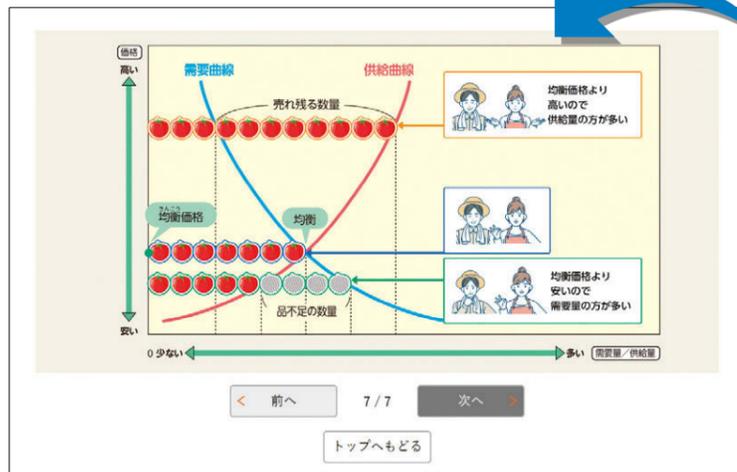
抽象的な事象についてわかりやすく図示して解説—スライドショー

基礎的・基本的な知識の定着のため、教科書中に登場する教材を用いた順序立てての説明ができるスライドショーを設けています。

注目! 定着度の低い箇所为重点的に設置
需要供給曲線、比例代表制の議席配分、円高・円安、金融政策など、生徒がつまづきやすい箇所を調査し、教材を設けています。



教科書紙面で使用している図版を分解し、順を追ってかみ砕いた説明をすることができるように教材を作成しています。



授業で説明する際に役立ちますね。



基礎的・基本的な知識の習得や、学習内容のまとめなどに役立つさまざまなコンテンツをご用意しています。また、学習内容に関する動画やウェブサイトへのリンクも設定しており、生徒が自主的に学習を深めることができます。

紙面だけでは伝わらない臨場感—動画教材

教科書掲載図版に関連した動画を設けています。とりわけ海外での出来事についてはその場の臨場感が伝わる動画教材を設けており、生徒が現代社会の出来事としての実感を得られるように工夫しています。



第2節 国際社会の課題

1 トルコの国境を突破するシリアの難民 (2015年、トルコ) 戦乱からのため、数千人の難民が不法入国しました。難民はその後地中海をわたって、EU諸国をめざしました。

2 破壊された家



私たちはあらゆる子どもの輝ける未来のために、学校と教育を求めます。(中略)本とペンを手に取り、全世界の無学、貧困、テロに立ち向かいます。それこそ私たちが最も強力な武器だからです。1人の子ども、1人の教師、1冊の本、そして1本のペンが、世界を変えるのです。

1 マララの国連での演説 (2013年、アメリカ)

パキスタンの中学生だったマララさんは、女性教育の普及活動を行っていました。2012年、それを禁じたテロ組織に、中学校から下校中に銃撃されましたが、一命をとりとめた。



知識を相互に関連付けてより深い学びへ—関連資料

地理的分野・歴史的分野での学習で使用した資料や学習を深める資料など、多様な教材を設けています。

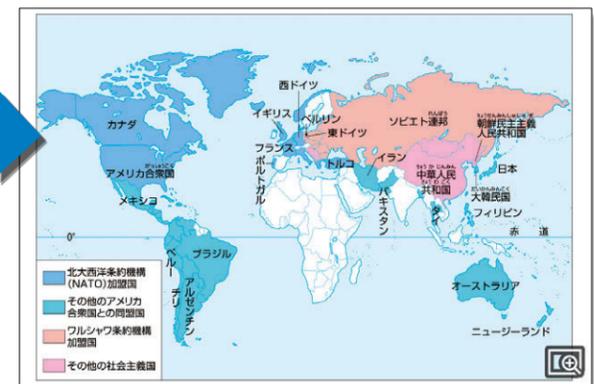


注目! 既存の知識を関連付けて知識の定着をはかる。



P.205 脚注 連携コーナー

歴史 冷戦とはどのような対立だったかを、ふり返りましょう。 関連資料



社会の課題の解決に向け考察、構想する

現代社会に見られる課題について資料を基に多面的・多角的に考察し、課題の解決に向けて広い視野からの構想をする学習を行うことができるよう、「チャレンジ公民」ページを設けています。各単元で習得した知識や見方・考え方を生かし、他者との学び合いを通じて主体的・対話的で深い学びを実現できるように工夫しています。

1 学習成果を生かす課題設定

現代社会、憲法、政治、経済、国際社会の各単元で、学習した知識を生かすことのできる課題を設定しています。

注目！ 実際の意思決定の場面を想定

架空の政党による政策案を示しており、実際の選挙のように政策案を比較検討し、選択・判断を行う構成にしています。

2 多面的・多角的な思考を促す教材

他者と協働的に学習を進める場面を設けるなどし、多面的・多角的に課題を考察することができるようにしています。

社会的な課題の解決を考える特設ページ



チャレンジ公民 地球温暖化に対する政策について考えよう

地球温暖化問題に対して、3つの政党が政策を発表しました。国際社会のなかで、日本はどのような役割を担っていくべきか、そのためにはどの政党を支持すべきかを考えましょう。

1 各党の政策

A党 日本の1人あたりの二酸化炭素排出量は他国と比べて高い。日本は先進国として、地球環境問題に対して大きな責任をもち、パリ協定に基づく目標を達成する義務がある。目標達成のためには、再生可能エネルギーの利用を推進する。国民の生活の質を維持するため、原発はただちに廃止せず、段階的に廃止する。資料： 支持： 不支持：

B党 国民の生活を維持して、経済に悪影響をあたえないようにするには、安定して発電できる、化石燃料による発電は必要である。パリ協定の目標の達成のために、再生可能エネルギーの推進、化石燃料による発電技術の向上、安全が確認された原発の稼働、途上国への環境保護の技術支援を行う。資料： 支持： 不支持：

C党 気温上昇を1.5度におさえても、世界各地に異常気象が頻発し、2100年には海面の上昇は最大77cmに達する予想がある。再生可能エネルギーは使わず、すみやかに再生可能エネルギーに変えるべきだ。また、一度事故が起きると、大きな影響をあたえる原発も全廃すべきである。資料： 支持： 不支持：

7. NGO 世界では、日本は石炭火力発電が多いことが批判されている。

イ. 学者 日本のエネルギー自給率は低いので、安定供給が必要である。

ウ. 企業X 再生可能エネルギー事業は成長分野なので、その開発に力を入れて利益に結びつけた。

エ. 企業Y 電気料金の値上げは、企業の業績と日本経済に悪影響がある。

- ① 各党の政策について、関係する資料は何でしょうか。
- ② ア～エの人々の意見は、どの政策の支持につながるか、不支持につながるかを組み取って、A～C党の空欄に記号を書き入れましょう。



エネルギー産業	家庭・オフィス関連	輸送・製造業
① 洋上風力、太陽光・地熱	① 自動車・蓄電池産業	① 住宅・建築
② 水素・水素エネルギー	② 半導体・情報通信産業	② 次世代電機
③ 次世代熱工	③ 航空宇宙産業	③ 宇宙産業
④ 原子力産業	④ 食品・農林水産業	④ 資源循環産業
⑤ 原子力産業	⑤ 空機産業	⑤ 宇宙産業
⑥ 原子力産業	⑥ サイクル・マテリアル産業	⑥ 宇宙産業

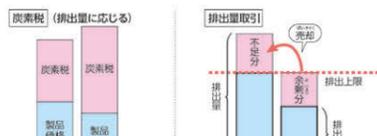
⑤ 政府のグリーン成長戦略 資料活用 気になった産業の具体例を調べてみましょう。



生徒がつまづいてしまわないように、段階を踏んで学習を進める構成にしています。



●カーボンニュートラルについて
2050年のカーボンニュートラル達成のためには、炭素税や排出量取引に関する政策も必要なので、それへの各党の政策を調べました。



- A党：導入をできるだけ早く進めるべき。
- B党：経済成長をはばまないように計画的に取り組む。
- C党：これらの政策はすぐ実現するべき。低所得者などへは、負担軽減策を行う。

⑤ 主なカーボンプライシング政策
2022年にEUは、輸入品にも炭素税をかけることを決めました。

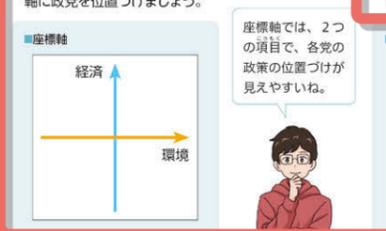
2 判断基準をさぐる

●3つの政党の政策を比較するためには、自分がどのような判断基準を重視するかを検討しましょう。

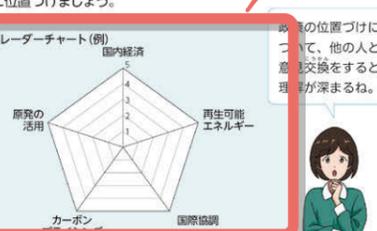


自分の意見と完全に一致する政策をもつ政党は必ず存在するとは限りません。実際の選挙でも、自分の意見に「比較的近い」考えをもつ政党を選択しましょう。

●2つの判断基準を選んで、座標軸に政党を位置づけましょう。



●政党の政策に関する自分の判断基準を次のレーダーチャートに位置づけましょう。



3 支持する政党を表明しよう

私は 党の政策を支持します。

なぜなら、

だからです。

●クラスで多く重視された判断基準をまとめて、グループで優先する判断基準について話し合ってみましょう。

チェックポイント

- このページの学習で、次の点が達成できたでしょうか。
- 各資料やア～エの意見を、各党の政策と結びつけることができた。
- 政策を選択するための判断基準を、自分で設けることができた。
- 持続可能性や国際協調などの見方・考え方を働かせて、なぜその政党を支持するかを説明することができた。

注目！ 思考ツールを用いて思考の過程を可視化

情報や知識を整理したり、論理的な思考を助ける思考ツール(→本冊子P.32)を提示しています。生徒の考察を補助し、また生徒がどのように考えに至ったのかが可視化できるため評価の際に役立ちます。

3 根拠を示して意思決定

与えられた資料やそれまでの学習内容を整理し、客観的事実と自分の意見を整理して表現する能力を育みます。

注目！ 資料を客観的に読み取り、考察を行う

生徒が考えをまとめるにあたって必要な資料を用意しています。



思考の過程では見方・考え方を働かせることができるよう、問いや示唆を設けています。

注目！ 学びの自己調整をサポート

学習内容に見通しを持ち、自らの学びを調整することができるよう、この学習で達成して欲しい項目を「チェックポイント」として示しました。

第1編	公園づくりについて話し合おう	…P.34-35
第2編第1章	道路の拡張計画について考えよう	…P.78-79
第2編第2章	自分たちのまちの首長を選ぼう	…P.124-125
第3編第2章	社会保障のあり方について考えよう	…P.184-185
第4編第1章	地球温暖化に対する政策について考えよう	…P.218-219

P.218-219 地球温暖化に対する政策について考えよう

社会や世界に向き合い、自らの人生を切り拓く

身近な地域の抱える課題を考える活動や、生徒が将来について考えることができるような、**社会参画をうながす**ための手掛かりとなるページとして「明日に向かって一私たちの社会参画」を設けました。18歳には成人となり選挙権を持つことを見すえて、主権者として社会のなかで自立し、**自らの人生を主体的に切り拓く力**を身に着けるための教材を教科書全体を通して多く取り扱っています。

社会参画をうながす特設ページ



明日に向かって一(10テーマ)

- 持続可能な社会** SDGs から社会の課題を考えよう …P.16-17
- インクルーシブ社会** まちのバリアフリーを探そう …P.56-57
- 成年年齢** 15歳は「子ども」? それとも「大人」? …P.72-73
- 防災・安全** 災害に強いくらしをきずく …P.102-103
- 模擬裁判** 裁判員裁判シミュレーション …P.110-111
- 社会参画** まちづくりに参加しよう …P.122-123
- 消費者教育** 契約について考えよう …P.138-139
- キャリア教育** 職業について調べてみよう …P.160-161
- 社会保障** 年金のしくみについて知ろう …P.182-183
- 持続可能な社会** SDGs から未来の社会を考えよう …P.216-217

地域社会への参画

生徒自身が住みまちの良いところや課題を考え、よりよいまちづくりのための政策提言を行う学習を紹介しています。

明日 まちづくりに参加しよう
「千歳駅前緑地「子ども未来会議室」」
地域の中学生が取り組みを参考に、私たちの住みまちの課題を考え、政策の提案をしよう。まちづくりに参加しよう。

122 まちづくりに参加しよう

キャリア教育

ウェビングマップを用いた自己分析の作業や興味のある職業への就き方の調べ学習を通して、生徒が将来の職業選択について考えられるようにしています。

職業について調べてみよう
職業とは、社会の中で役割を担うこと。職業は、社会の発展を支える重要な役割を果たしています。職業は、社会の中で役割を担うこと。職業は、社会の発展を支える重要な役割を果たしています。

161 職業について調べてみよう

注目! 活動を伴う授業用の教材としても、読み物教材としても扱えます。

消費者教育

成年年齢が18歳に引き下げられたことを受け、契約に関するクイズを通してよりよい消費生活を送るにはどうすればよいか、学習することができるようにしています。

明日 契約について考えよう
「契約とは何か」を学ぶ。契約とは、2人以上の間で、互いに約束をすること。契約は、社会の中で重要な役割を果たしています。

138 契約について考えよう

主権者教育に関わる教材の充実

社会に主体的に参加する方法を考えたり社会の課題を探求したりする活動を通して、主権者としての政治参加のあり方について多面的・多角的に考えることができるよう、多数の教材を設けています。

社会保障のあり方について考えよう
社会保障とは、生活に困窮する人を支えるための制度。社会保障は、社会の安定を支える重要な役割を果たしています。

184 社会保障のあり方について考えよう

法教育

模擬裁判など、活動を通して法的な考え方を身に付けられるような教材を設けています。

明日 裁判員裁判シミュレーション
裁判員裁判とは、市民が裁判に参加する制度。裁判員裁判は、社会の公正を支える重要な役割を果たしています。

110 裁判員裁判シミュレーション

選挙の投票はどうするの?
選挙とは、国民が代表者を選ぶための制度。選挙は、社会の発展を支える重要な役割を果たしています。

86 選挙の投票はどうするの?

若い世代の政治参加
若い世代の政治参加は、社会の発展を支える重要な役割を果たしています。若い世代の政治参加は、社会の発展を支える重要な役割を果たしています。

91 若い世代の政治参加

注目! 選挙制度などのしくみの理解に留まらず、主権者として自ら選択・判断する能力を身に着ける。

定まった正解のない問いについて考える活動を通して、公民的分野の学習内容をより深く理解するとともに、主体的に選択・判断する力を身に着けます。他者と協働して活動を行うことで、生徒が自らと異なる意見や対立する意見に触れ、異なる立場の人とともに問題解決について考えることができます。

このような学習を協働的に行うことは、議論する力や説明する力を育むことにもつながります。



最新のトピックスに関する教材

教科書全体を通して、基礎的・基本的な知識が確実に定着するよう、多彩な教材を掲載しています。現代的な諸課題や最新のトピックス、抽象的な事象を分かりやすく具体化するイラスト教材など代表的なものをご紹介します。

新型コロナウイルス感染症

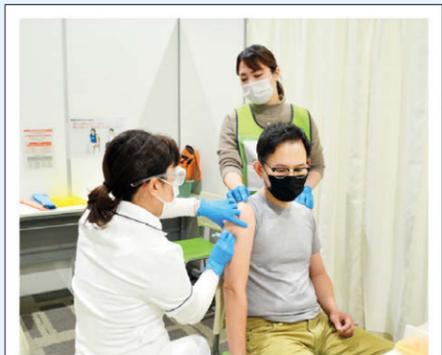
新型コロナウイルス感染症については、グローバル化、公共の福祉、景気変動、社会保障制度など、公的・私的の学習内容に関する箇所を教材として取り扱っています。また、訪日外国人旅行者数や国の歳出額など、新型コロナウイルス感染症によって統計数値が大きく変化したグラフについては、読み取りに支障のないよう、その旨に触れています。

公共の福祉



P.71

公衆衛生

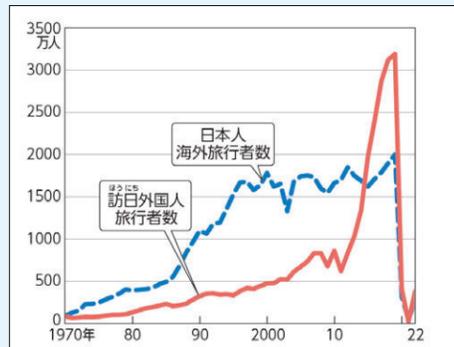


4 新型コロナワクチンの接種(2022年、和歌山県和歌山市) 感染症への対応は、公衆衛生に含まれます。

P.179

グローバル化

P.13



9 訪日外国人、日本人海外旅行者の推移(日本政府観光局資料) 新型コロナウイルス感染症の影響で2019年以降は急減しました。



1 緊急事態宣言中の、人通りの少ないスクランブル交差点(2020年、東京都渋谷区)

P.186

新しい科学技術

AI、自動運転、3Dプリンターなど新しい科学技術に関する教材を多数取り扱っています。



1 3Dプリンターで提供される植物由来の人工肉(2021年、イスラエル)

食

巻末4



3 自動運転(2022年、三重県四日市市) 2023年から、特定の条件下で、システムがすべての運転操作を行うバスが走れるようになりました。

P.33



3 AIによる高齢者の健康の見守り(2022年、三重県東員町) 各戸の電力計の消費電力量のデータをAIが分析して、高齢者の健康状態を判定します。

P.16

ヤングケアラー

社会保障制度の学習のなかで、行政による支援が行き届きにくい課題を抱えるヤングケアラーについてのコラムを掲載しています。



3 ヤングケアラーについての広報資料(愛媛県)

P.179

ロシアによるウクライナ侵攻

ロシアによるウクライナ侵攻については、第4編第1章第2節「国際社会の課題と私たちの取り組み」にてコラムや難民・避難民の受け入れに関する教材を設けています。

公民

ロシアによるウクライナ侵攻

旧ソ連の解体で国が分かれた後、ロシアとウクライナの間にはクリミア半島の帰属をめぐる紛争があり、2014年にはロシアがクリミア半島に軍事侵攻し併合しました。危機感を覚えたウクライナの政権は、北大西洋条約機構(NATO)加盟の姿勢を明確にしますが、これに対抗したロシアが2022年にウクライナに軍事侵攻し、首都のキーウが



3 ウクライナとヨーロッパ

攻撃されるなど全面的な戦争となりました。ウクライナには、欧米諸国からの経済・軍事援助があり、戦争は長期化しています。NATOには、冷戦後、東欧諸国の加盟が続き、ロシアは国境を接するウクライナの

6 破壊されたキーウ近郊のまちと破壊されたロシア軍の戦車(2022年、ウクライナ)



7 ロシアとウクライナの年表(●ウクライナのできごと)

年	できごと
1991	ソ連解体、ウクライナ独立
1992	クリミア議会、独立決議(最終的にはウクライナ所屬)
1994	●核兵器放棄(米英ロによる安全保障)
2004-05	●オレンジ革命(民主化進む)
2010	●親ロシア政権
2013-14	●マイダン革命、親欧米政権
2014	ロシア、クリミア併合
2022	ロシア、ウクライナに軍事侵攻

加盟には慎重です。この侵攻を機に、中立政策をとっていたスウェーデンとフィンランドがNATO加盟を申請しました。

P.205

新しい働き方

労働の学習では、テレワーク、サテライトオフィス、定年退職後の再雇用など、近年増加している新しい働き方についての記述を設けています。

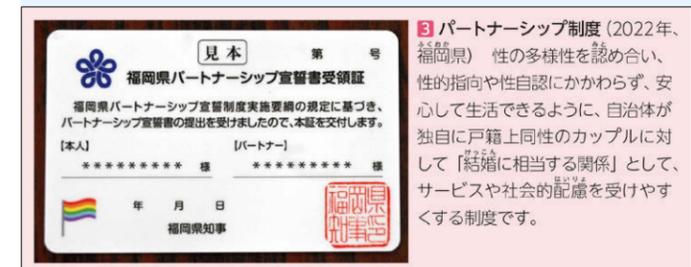


1 テレワークで働く人(2020年、神奈川県横浜市) 感染症の流行をきっかけに、自宅などで働くテレワークのしくみを導入する企業等が増えました。

P.158

性の多様性

学校制服の選択制や地方公共団体によるパートナーシップ制度を紹介しています。



3 パートナーシップ制度(2022年、福岡県) 性の多様性を認め合い、性的指向や性自認にかかわらず、安心して生活できるように、自治体が独自に戸籍上同性のカップルに対して「結婚に相当する関係」として、サービスや社会的配慮を受けやすくする制度です。

P.54

現代的な諸課題を扱った豊富な教材

人権

従来からの課題に加えて、現代における新しい課題にも目配りして掲載し、生徒自らもかわる課題として解決に取り組むことができるようにしています。

不当な差別的取り扱ひの禁止

車いすを理由に入店を断る

災害時の案内が音声だけ

合理的配慮の提供

意思を伝え合うための筆談

電車に乗るときの段差をなくす

P.55

公民 沖縄と基地問題

第二次世界大戦末期の1945年3月、アメリカ軍は沖縄に上陸し、3か月におよぶ地上戦の末、住民と兵士合わせて20万人以上が犠牲になりました。戦後も沖縄はアメリカの施政権下におかれ、1951年締結の日米安全保障条約で存続したアメリカ軍基地は、1972年の日本復帰後も多く残されたまま今にいたっています。そのあいだも基地の整理・縮小を求める動きはねばり強く続き、1996年に行われた県民による住民投票も、基地の整理・縮小に賛成が多数を占めました。その後、日米政府間で、沖縄のアメリカ軍の拠点の一つである普天間飛行場を、名護市の辺野古沖を埋め立てて移転することが決まりましたが、2019年に行われた県民による住民投票では、埋め立てに反対が多数を占めました。アメリカ軍の基地問題は、軍用機の墜落などの事故、地域の治安や騒音などの住環境にかかわる問題がある一方で、東アジアの安全保障とかかわるなど、さまざまな面をもっています。

② アメリカ軍基地(普天間飛行場) (2022年、沖縄県宜野湾市)

③ 沖縄の軍用地(沖縄県資料) 在日アメリカ軍基地の面積の約70%が沖縄県にあり、その面積は県の約8%(沖縄島の約15%)にもおよんでいます。

P.77

防災・減災

近年多発する**自然災害**については、東日本大震災の津波被害、自助・共助・公助の考え方といった**防災・減災**に関する事例のほか、地域社会での取り組みや行政の備え、災害からの復興における課題など公民的分野の学習内容に関連した教材を掲載しています。

明日に備わって 私たちの社会を

災害に強い暮らしをきずく

東日本大震災における取り組み

① 津波の被害(2011年、高城町岩谷町)

② 浸水範囲と生徒たちの避難コース

③ 日本中から集まったボランティアと援助物資(2011年、岩手県釜山市)

④ 校外学習用に使われていたバスをおくる(2011年、千葉県船橋市) 千葉県船橋市が被災地で活用してもらおうと、岩手県大船渡市と船橋市におくりました。

P.102

伝統・文化

社会を形作る文化、文化の多様性、文化の継承の観点から教材を掲載しています。

秋祭り・だんじり(2019年、大阪府岸和田市)

P.20

環境・資源・エネルギー

温室効果ガスの排出削減や、エネルギーのベストミックス、原子力発電所に関する諸課題など、生徒が自分事として考察することのできる教材として掲載しています。また、カーボンニュートラルやマイクロプラスチックの海洋汚染など近年注目を集めている事項についても取り扱っています。

P.213

アクティビティ 日本のエネルギーの未来

発電方法	発電費用(円/kWh)	CO ₂ 排出量(発電時)(g/kWh)	長所	短所
火力(石炭)	12.5	864	安定して高い発電量がみこめる。(石炭・天然ガス)世界の各地に存在する。	温室効果ガスを排出。国際情勢に供給・価格が左右される。(石油)産地が一部の地域にかたよる。
火力(石油)	26.7	695		
火力(天然ガス)	10.7	476		
原子力	11.5	0	安定して高い発電量を得られる。	事故の被害が大い。放射性廃棄物が出る。
再生可能エネルギー(水力)	10.9	0	維持費が安い。供給が安定している。	立地が限られる。(水力)大規模ダムは環境への影響が大い。(地熱)発電費用が高い。
再生可能エネルギー(地熱)	16.7	0		
再生可能エネルギー(風力)	19.8	0		
再生可能エネルギー(太陽光)	12.9	0	試算では将来発電費用が減る。(太陽光)せまい場所に設置できる。	発電が天候に左右される。発電費用が高い。環境・景観問題がある。

⑧ 発電方式の特徴と発電費用(「資源エネルギー庁資料ほか」)

⑨ 発電電力量の推移(「エネルギー白書」2022年)

発電方式には、それぞれ費用、環境への影響、安全性、安定性などに長所と短所があります。①発電方式のもつ長所と短所をふまえて、2030年の発電電源の割合を、効率と公正、持続可能性の観点から考えましょう。②グループで話し合せて意見をまとめて、他のグループと意見交換をしましょう。

平和・命の尊さ

マララ・ユスフザイさんや中村哲さんなど、日本や世界の事例を掲載しています。他国を尊重し国際社会の平和と発展に寄与する態度を育てる教材になるよう工夫しています。

私たちはあらゆる子どもの輝ける未来のために、学校と教育を求めます。(中略)本とペンを手に取り、全世界の無学、貧困、テロに立ち向かいましょう。それこそ私たちにとって最も強力な武器だからです。1人の子供も、1人の教師、1冊の本、そして1本のペンが、世界を変えられるのです。

⑤ マララさんの国連での演説(2013年、アメリカ)

パキスタンの中学生だったマララさんは、女性教育の普及活動を行っていました。2012年、それを嫌ったテロ組織に、中学校から下校中に銃撃されましたが、一命をとりとめました。回復後も、女性の権利の向上を訴え続け、2014年にノーベル平和賞を受賞しました。

P.68

P.203

公民 パレスチナ問題

⑤ イスラエルとパレスチナ

国の形成に宗教が深くかかわっている国々では、宗教のちがいが政治的に重大な対立を生み出しやすいため、パレスチナ問題はその一つです。第二次世界大戦後、パレスチナにユダヤ人が移住し、起こりました。その後の交渉が発足し、現

⑥ 聖地エルサレム(2018年) キリスト教、イスラム教、ユダヤ教の聖地です。

⑦ 資料活用 三大宗教が起こった地域と、現在の世界の宗教の分布をふり返ろう。

多文化共生社会

⑤ イスラム教の戒律に基づく「ハラール」に配慮した食品(2021年、東京都品川区)食材や調理に関するきまりを守って調理されます。

P.21

⑫ 茶道で交流する日本とドイツの中学生(2019年、奈良県山添村)

このほかにも様々な教材があります。



ユニバーサルデザインフォントの使用

教科書本文には、読み間違えにくくわかりやすいユニバーサルデザインフォント(UDフォント)である、「UD黎ミン」[ヒラギノUD角ゴF](株式会社モリサワ)を使用しています。本文以外の箇所にも、適切なUDフォントを使用しています。

民主政治と選挙

民主政治では、国民の意見を政治に反映させるために、国民が代表者を選挙で直接選ぶ方法(直接選挙)がふつうです。かつては、財産(納税額)や性別で選挙権の制限がありました(制限選挙)。今日では、一定の年齢に達した

UD黎ミン

ヒラギノ UD角ゴF

P.86/原寸

●ルビについて

小学校6年生以上で学習する漢字には、見開きの初出の箇所にルビ(ふりがな)をつけています。また、重要語句には、すべてルビをつけました。ルビの書体にもUDフォントを採用し、小さな文字でも読み取りやすくしています。

●「図版番号」について

図版には番号を付し、授業の際に使いやすくしました。また、本文にも関連する図版番号を添えて、本文と図版を関連させて読み取ることで、よりよく理解できるようにしています。

「単元カラー」とインデックス

各単元で基本色となる「単元カラー」を設定し、デザインを統一しています。また、ページの右端にインデックスを設け、現在学習している単元を常に参照できるようにしています。



教科書の軽量化への取り組み

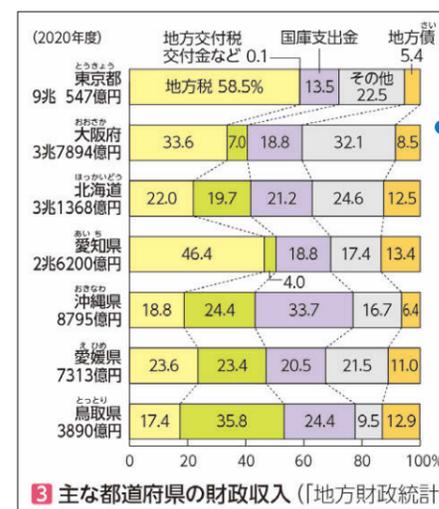
生徒の持ち運びの負担を軽減するために、良質で軽い紙を採用しています。それでいて十分な強度を持ち、裏写りが少なくなるよう工夫しています。



カラーユニバーサルデザインへの対応

特別支援教育やカラーユニバーサルデザイン(CUD)の観点から、大内進先生(星美学園短期大学日伊総合研究所客員研究員)に校閲をお願いし、すべての生徒が等しく情報を読み取ることができるように配慮しました。

CUDへの対応の例

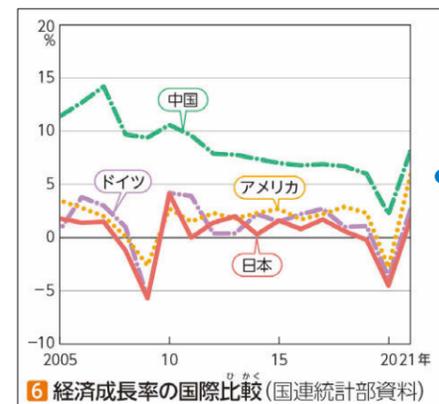
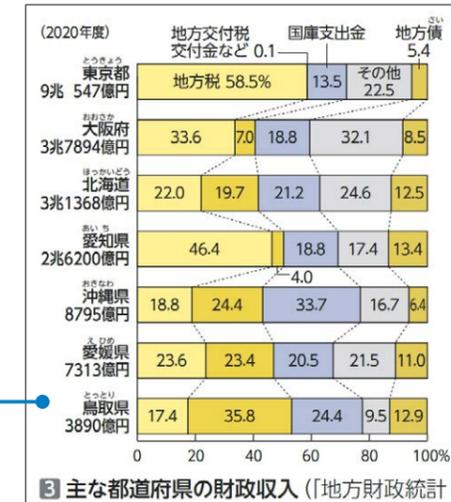


●帯グラフや円グラフは細かい黒線で区切って境界を判読できるようにしています。

●区分線を表示し、色に頼らない読み取りを可能にしています。

教科書の中で使用している色は、色覚に特性のある人でも判別が可能なよう配慮しています。

例: 1(P)型2色覚の方の見え方のシミュレーション



●折れ線の色だけでなく選手を変更し、違いを明確にしています。

●凡例表示ではなく、折れ線にフキダシをつけています。

色に明度差をつけたり色以外の情報でも判別が可能なことで、色覚に特性のある人だけでなく、全ての人にとって情報が読み取りやすいデザインになります。



学習者用デジタル教科書のご案内

<令和7(2025)年3月発行予定>

学習者用デジタル教科書には、総ルビ表示やリフロー表示、色反転、機械音声読み上げなど生徒一人一人の状況に応じて利用できるさまざまな機能を搭載しています。

詳しくは本冊子P.44をご覧ください。

拡大教科書のご案内

<令和7(2025)年3月発行予定>

日本文教出版では、すべての小学校・中学校教科書で、拡大教科書を発行しています。拡大教科書は通常の教科書の文字を拡大するとともに、編集意図を損なわないように写真などの図版の配置も再レイアウトしたものです。

22pt/B5判

26pt/A4判

近畿地方

- 三重県** AIによる高齢者の健康の見守り(東員町、P.16)
1960年ごろと現在の四日市市(四日市市、P.175)
玉丸城太鼓(尾鷲市、P.222)
- 滋賀県** 淡水魚の稚魚の放流(近江八幡市、巻頭1)
コロナ禍で外国人を支援する多言語対応の相談員(甲賀市、P.13)
- 京都府** 夜間中学(京都市、P.58)
京都市の景観とまちづくり(京都市、P.70)
文化庁の京都移転(京都市、P.101)
- 大阪府** 2025年の大阪・関西万博(予定)(大阪市、P.15)
写真
まちのバリアフリーを探そう-大阪府堺市-(堺市、P.56-57)
若者の投票率向上の取り組み(高槻市、P.90)
地方議会(八尾市、P.116)
千里キャンドルロード(吹田市・豊中市、P.115)
- 兵庫県** 有機農産物を使った給食の実現を求める請願(丹波市、P.60)
地方公共団体の仕事(加古川市、P.116)
リゾート施設を再利用した社屋(淡路市、P.159)
- 奈良県** 中学生の授業(奈良市、P.10)
茶道で交流する日本とドイツの中学生(山添村、P.21)
- 和歌山県** 車いすバスケットボール体験(和歌山市、巻頭1)
ロケット発射場の誘致(串本町、P.115)



8 2025年の大阪・関西万博(予定)

九州地方

- 福岡県** パートナーシップ制度(P.54)
指さしコミュニケーションボード(糸島市、P.55)
自衛隊による被災者の救助活動(大牟田市、P.77)
- 佐賀県** 市役所の生活保護相談窓口(佐賀市、P.179)
- 長崎県** 長崎平和祈念式典に参加した中学生(長崎市、巻頭1)
- 熊本県** 避難所を訪問するご当地キャラクター(熊本市、P.114)
- 大分県** 地熱発電(九重町、P.212)
- 宮崎県** ドローンの宅配実験(延岡市、P.11)
宮崎県の畜産業の復興(P.115)
写真
- 鹿児島県** 消費者ホットラインの広報資料(P.136)
- 沖縄県** 首里城の再建(那覇市、P.20)
アメリカ軍基地(宜野湾市、P.77)



6 和牛の品評会で日本一となった宮崎県の牛(2022年)

2 私たち

中部地方

- 新潟県** 共生のまちづくり条例(新潟市、P.121)
学校で期日前投票する高校生(柏崎市、P.90)
- 石川県** フェアトレードのチョコレートの販売(金沢市、巻頭2)
- 福井県** 福井藩藩札(P.133)
- 山梨県** 実験走行をするリニア中央新幹線(都留市、巻末5)
- 長野県** 市町村合併の住民投票(平谷村、P.121)
- 静岡県** 水素エンジンで走るレーシングカー(小山町、巻頭2)
日本の自衛隊とアメリカ軍の共同訓練の記者会見のようす(御殿場市、P.76)
輸入食料品が並ぶ店(浜松市、P.150)
- 愛知県** 尾張津島天王祭に向けた練習(愛西市、P.21) 写真
外国人児童対象の読み書き教室(豊橋市、P.55)
トマトで健康づくり条例(東海市、P.117)



10 尾張津島天王祭に向けた練習

北海道地方

- 北海道** 国立アイヌ民族博物館(白老町、P.20) 写真
アイヌ語弁論大会 イタカン ロー(千歳市、P.53)
共創のまちぐらし推進プロジェクト(函館市、P.115)
クラウドファンディングを活用した取り組み(夕張市、P.118)



5 国立アイヌ民族博物館(2020年、北海道白老町) 先住民族アイヌの歴史や文化を伝え、未来につなげていくためにつくられました。

東北地方

- 岩手県** 津波から逃げる目印をつける中学生(釜石市、巻頭1)
南部鉄器(盛岡市、P.21)
日本中から集まったボランティアと援助物資(釜石市、P.102)
- 宮城県** 東日本大震災遺構・伝承館でガイドをする中学生(気仙沼市、P.14) 写真
被爆体験を中学生に絵で伝える取り組み(仙台市、P.207)
大谷海岸の保全(気仙沼市、P.224)
- 秋田県** 洋上風力発電(能代市、P.212)
- 山形県** ふるさと定住いいですね条例(飯豊町、P.117)
鶴岡サイエンスパークの取り組み(鶴岡市、P.145)
- 福島県** 福島第一原子力発電所(大熊町、P.213)



2 東日本大震災遺構・伝承館でガイドをする中学生(2019年、宮城県気仙沼市)

関東地方

- 茨城県** eスポーツの高校選手権(水戸市、P.10)
持ち運びを補助するロボットスーツを着用する人(つくば市、巻末4)
- 栃木県** 環境に配慮した交通の整備(LRT)(宇都宮市、P.66)
とちぎ観光おもてなし条例(P.117)
渡良瀬遊水地の外来生物の調査(小山市、P.222)
- 群馬県** ブラジルの食品を扱うスーパーマーケット(大泉町、P.19)
- 埼玉県** 歩きエスカレーター禁止条例(P.126)
AIカメラでの画像分析(川口市、P.145)
- 千葉県** 盲導犬を用いた鉄道会社の講習(印西市、P.55)
まちづくりに参加しよう-千葉県船橋市「こども未来会議室」-(船橋市、P.122-123)
写真
- 東京都** 漫画を題材とした博物館(豊島区、P.114)
東京都足立区の住民参加-ビューティフル・ウィンドウズ運動-(足立区、P.120)
NPOによる地域の清掃(渋谷区、P.26) 結核研究所の活動(清瀬市、P.209)
脱炭素社会の実現へ(板橋区、P.217)
- 神奈川県** エネルギーの地産地消(小田原市、P.17)
歩きスマホ禁止条例(大和市、P.126)
働く人へのインタビュー ~JAXA 津田雄一さん~(相模原市、P.155)
プラスチックの海洋汚染(P.217)



11 水木しげるロード(2018年、鳥取県境港市)

中国・四国地方

- 鳥取県** 水木しげるロード(境港市、P.21) 写真
- 岡山県** 公共冷蔵庫(岡山市、P.16)
バイオマス発電(真庭市、P.212)
- 広島県** 田植祭り(庄原市、P.20)
広島平和記念式典(広島市、P.74)
福山市ばらのまち条例(福山市、P.117)
- 山口県** 米軍空母艦載機受け入れの住民投票(岩国市、P.121)

- 徳島県** 吉野川可動堰の建設住民投票(徳島市、P.121)
エシカル消費の普及に取り組む高校生(那賀町、巻末3)
- 香川県** 香川県・香川人権啓発推進会議のポスター(P.52)
災害時の連携協定(高松市、土庄町、小豆島町、P.103)
- 愛媛県** 道後温泉の外国人観光客対象の避難訓練(松山市、P.12)
ヤングケアラーについての広報資料(P.179)
太陽光発電(西条市、P.212)
- 高知県** 性別にかかわらず選べるようになった中学生の制服(高知市、P.54)



2 潮干狩りにぎわう三番瀬

● 学習指導要領との対照表・配当授業時数

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
これからの社会をどんな社会にしたい?	A~D	巻頭1-2	1
第1編 私たちと現代社会	A	P.6~37	15
第1章 私たちが生きる現代社会	A(1)	P.6~23	(8)
第1節 私たちが生きる現代社会の特色	A(1)	P.8~17	(4)
第2節 現代社会の文化と私たち	A(1)	P.18~21	(2)
第2章 現代社会の見方・考え方	A(2)	P.24~37	(7)
第2編 私たちの生活と政治	C	P.38~127	38
第1章 個人の尊重と日本国憲法	C(1)	P.38~81	(19)
第1節 法に基づく政治と日本国憲法	C(1)	P.40~47	(4)
第2節 日本国憲法と基本的人権	C(1)	P.48~73	(10)
第3節 日本の平和主義	C(1)	P.74~77	(2)
第2章 国民主権と日本の政治	C(2)	P.82~127	(19)
第1節 民主政治と政治参加	C(2)	P.84~93	(4)
第2節 国の政治のしくみ	C(2)	P.94~113	(8)
第3節 暮らしを支える地方自治	C(2)	P.114~123	(4)
第3編 私たちの生活と経済	B	P.128~187	27
第1章 市場のはたらきと経済	B(1)	P.128~169	(19)
第1節 経済のしくみと消費生活	B(1)	P.130~143	(6)
第2節 生産の場としての企業	B(1)	P.144~161	(8)
第3節 金融のしくみとお金の大切さ	B(1)	P.162~167	(3)
第2章 国民の生活と政府の役割	B(2)	P.170~187	(8)
第4編 私たちと国際社会	D	P.188~230	19
第1章 現代の国際社会と課題	D(1)	P.188~221	(15)
第1節 国家と国際社会	D(1)	P.190~203	(6)
第2節 国際社会の課題と私たちの取り組み	D(1)	P.204~217	(6)
第2章 私たちの課題	D(2)	P.222~230	(4)
		合計	100

※「学習のはじめに」「まとめとふり返し」「チャレンジ公民」には、それぞれ1時間を配当しています。

● 観点別教材一覧

1. 基本的人権・共生社会にかかわる教材

編	章	ページ	項目
1	1	P.8-9	少子高齢化の社会で生きる私たち
2	1	P.42-43	法に基づく政治と憲法
		P.48-49	人権思想のあゆみと日本国憲法
		P.50-51	自由に生きる権利
		P.52-53	等しく生きる権利
		P.54-55	共生社会をめざして
		P.56-57	まちのバリアフリーを探そう

編	章	ページ	項目
2	1	P.58-59	人間らしい生活を営む権利
		P.61	ハンセン病
		P.66-67	社会の変化と人権保障—科学技術と人権—
		P.69	子どもの権利条約
	2	P.107	えん罪と「代用監獄」
3	1	P.154-155	働く意味と労働者を支えるしくみ
	2	P.178-179	社会保障のしくみ

2. 平和・国際理解にかかわる教材

編	章	ページ	項目
1	1	P.12-13	グローバル化する社会で生きる私たち
2	1	P.74-75	日本国憲法の平和主義
		P.76-77	日米安全保障条約と日本の国際貢献
3	1	P.150-151	グローバル化する経済と現代の企業
4	1	P.198-199	国際連合の目的とはたらき

編	章	ページ	項目
4	1	P.200-201	グローバル化のなかでの地域統合
		P.204-205	現代の戦争と平和
		P.206-207	世界の軍縮と日本の役割
		P.208-209	日本の平和主義と国際貢献
		P.210-211	発展途上国の現状と多様化する世界

3. 伝統・文化にかかわる教材

編	章	ページ	項目
1	1	P.18-19	現代社会における文化
		P.20-21	日本の伝統文化の特色と文化の創造

編	章	ページ	項目
1	1	P.21	伝統の継承
4	1	P.202-203	世界のさまざまな文化や宗教

4. 我が国の国土と歴史への理解と愛情にかかわる教材

編	章	ページ	項目
4	1	P.192-193	国家と国際関係
		P.194-195	日本の領土をめぐる問題

編	章	ページ	項目
4	1	P.196-197	日本の領土をめぐる問題の解決に向けて

5. 環境・持続可能な社会にかかわる教材

編	章	ページ	項目
		巻頭1-巻頭2	これからの社会をどんな社会にしたい?
1	1	P.14-15	持続可能な社会と私たち
		P.16-17	SDGsから社会の課題を考えよう
3	1	P.137	消費を通じた社会への意思表示
		P.175	環境保全における政府の役割

編	章	ページ	項目
4	1	P.190-191	国際社会と持続可能性
		P.212-213	限りある資源とエネルギー
		P.214-215	地球規模の環境問題と国際協力
		P.216-217	SDGsから未来の社会を考えよう
	2	P.222-230	私たちの課題—持続可能な社会をめざして—

6. 防災・安全にかかわる教材

編	章	ページ	項目
2	2	P.102-103	災害に強い暮らしをきずく

編	章	ページ	項目
4	2	P.224	災害にそなえるには

7. 情報にかかわる教材

編	章	ページ	項目
1	1	P.10-11	情報化で変わる社会と私たち
2	1	P.62-63	社会の変化と人権保障—情報化と人権—
		P.64-65	「ネット社会」とつき合う方法

編	章	ページ	項目
2	2	P.90-91	政治参加と世論
		P.92-93	新聞の読み方と伝え方を学ぼう
3	1	P.140-141	ものの流れと情報の流れ

8. 社会参画にかかわる教材

編	章	ページ	項目
2	1	P.72-73	15歳は「子ども」?それとも「大人」?
		P.86-87	選挙の意義としくみ
		P.90-91	政治参加と世論
		P.108-109	私たちの司法と裁判員制度
		P.110-111	裁判員裁判シミュレーション
		P.112-113	三権分立と政治参加

編	章	ページ	項目
2	2	P.114-115	私たちの暮らしと地方自治
		P.120-121	地方自治と私たち
		P.122-123	まちづくりに参加しよう
3	1	P.160-161	職業について調べてみよう
		P.182-183	年金のしくみについて知ろう
4	2	P.222-230	私たちの課題—持続可能な社会をめざして—

● 教師用指導書のご案内 令和7(2025)年3月発行予定

教師用指導書は、「学習指導編」「ワークシート・評価問題編」の2分冊と、「デジタルデータ集」から構成されます。

学習指導編

先生方の授業計画や教材研究をサポートします。

掲載内容

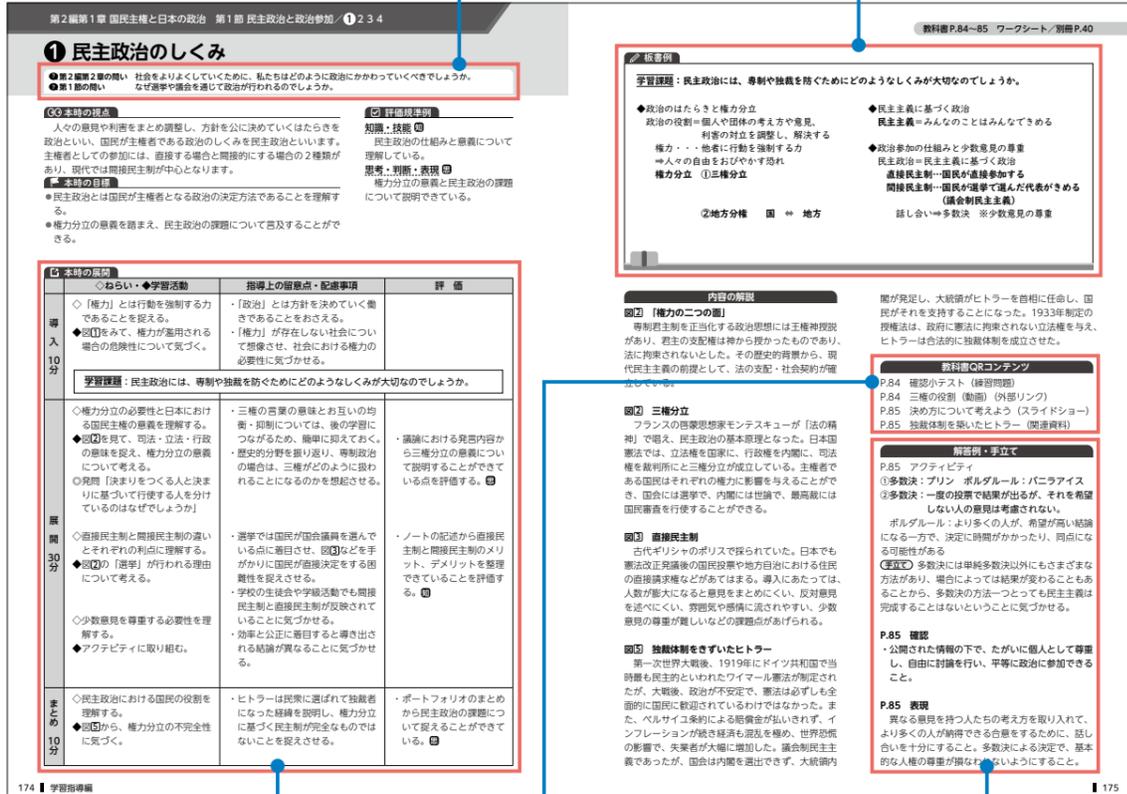
総論編	<ul style="list-style-type: none"> ◆学習指導要領や学習指導計画作成資料などの基本的な資料。 ◆学習指導要領の趣旨や授業での教科書の活用の仕方などの論考。
学習指導編	<ul style="list-style-type: none"> ◆内容のまとめりごとの指導や評価計画の作成を支援する単元の問いの構造などの解説。 ◆1時間の授業をひと目で見渡せる見開き2ページ構成。 ◆現場の先生方の授業実践の成果を反映した学習指導案や板書例など。 ◆教科書の図版の解説や授業における活用の仕方のほか、「アクティビティ」「確認」「表現」などの問いの解答例(手立てを含む)。

● 単元を貫く問い

1時間の授業でも常に単元を貫く問いを確認することができます。

● 板書例

1時間の学習のポイントを整理しています。



● 本時の展開

教科書に沿った学習活動や発問例、指導上の留意点・配慮事項、評価などを例示しています。「見方・考え方」や教科書QRコンテンツを授業でどう扱うかについても提案し、新任の先生でも授業展開を具体的にイメージできるようにしました。

● 解答例・手立て

教科書の問いの解答例や、指導の手立てを示し、評価にも活用していただけます。

ワークシート・評価問題編

先生方の授業準備や評価をサポートします。

掲載内容

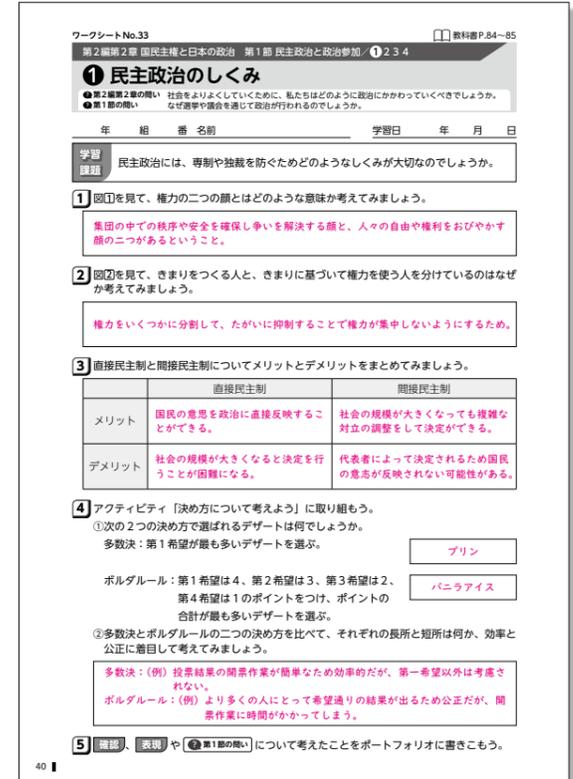
ワークシート編	<ul style="list-style-type: none"> ◆教科書に準拠した1時間ごとのワークシート。 ◆学習指導編の展開例に対応した内容で、そのまま使用することが可能。 ◆解答例が記された赤刷りはデジタルデータ集に収録。
評価問題編	<ul style="list-style-type: none"> ◆単元ごとに作成した「評価問題例」と「評価問題の解説」を掲載し、定期テストなどでの問題作成の参考とすることが可能。 <p>〈評価問題例〉 知識・技能や、思考・判断・表現の評価の観点に対応した問題をバランスよく設定しています。特に思考・判断・表現を評価する問題については、複数の資料を読み取り、現代社会の見方・考え方を働かせて解答する問題を作成するなどの工夫をしています。</p> <p>〈評価問題の解説〉 解答例や問題作成の意図のほか、誤答箇所別対応でその後の指導方法を提案するなど、個に応じた指導に対応しています。</p>

デジタルデータ集

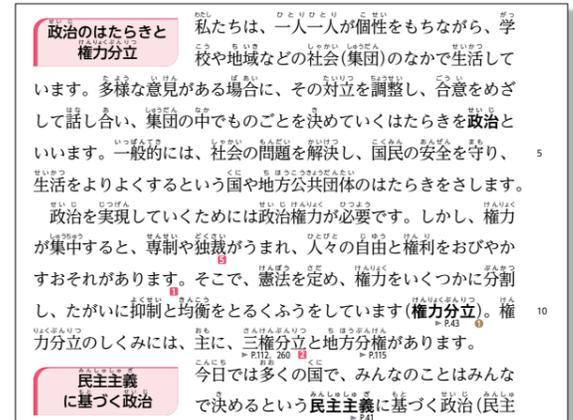
ICTを活用した授業をサポートします。

収録内容

教科書関連データ	<ul style="list-style-type: none"> ①教科書紙面データ 電子黒板など提示型ICT機器で利用できる教科書全ページの紙面PDF(総ルビ付きも収録)。 ②教科書本文テキスト 教科書の本文・コラムなどのテキストデータ。 ③教科書図版データ集 プリントやテスト作成の際に活用できるモノクロ化した教科書図版。
付録データ	<ul style="list-style-type: none"> ④学習指導計画案—評価規準の参考事例— 内容のまとめり(単元)に対応した、指導と評価計画の作成にあたって参考となる資料。 ⑤ワークシート 解答例なし・解答例付きの2種類。 ⑥白地図 日本全国図・世界全国図。



ワークシート(解答例付き)



教科書紙面データ(総ルビ付きPDF)

「デジタルデータ集」はクラウド配信を予定していますので、WindowsPC・iPad・Chromebookなどの多様な機種で標準ブラウザを使用しての閲覧が可能です。

本製品は開発中のため、記載の内容・仕様は予告なく変更する場合があります。

● デジタル教科書・デジタル教材のご案内

1人1台端末で利用する「学習者用デジタル教科書」、学習者用デジタル教科書と一体的に利用することでより学習を深めることができる「学習者用デジタル教科書+教材」、電子黒板などで提示する「指導者用デジタル教科書(教材)」を発行します。個別最適な学びの実現を目指し、授業や個別学習のサポートとなる機能・コンテンツを用意しています。多様な授業形態や機器の整備状況に応じてご利用ください。WindowsPC・iPad・Chromebookの3種に対応しています。

📍 学習者用デジタル教科書

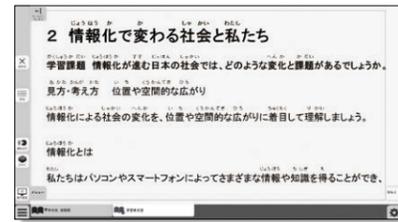
いつでも拡大、いつでも書き込み

利用頻度の高い「拡大」「ペンツール」「ページ送り」の基本機能をいつでも使いやすいように配置しています。何度でも書いたり消したりを繰り返すことができ、間違いを恐れず考えを深めることができます。

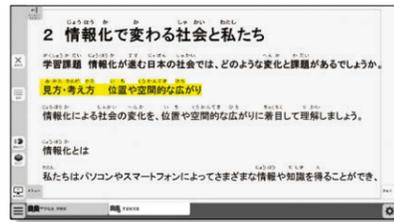
充実した学習支援機能

文字色や背景色の変更、行間・文字の大きさ変更(リフロー機能)、総ルビ表示、本文の機械音声読み上げ、背景色・文字色等の変更など、学習を進めやすくするための機能を実装しています。一人ひとりの特性に合った学習をサポートします。

① リフロー機能・総ルビ表示



② 機械音声読み上げ



③ 背景色・文字色等の変更



📍 指導者用デジタル教科書(教材)

豊富なコンテンツで生徒の理解を支援

コンテンツ例① 導入スライドショー

単元を貫く問いを立てる活動を助けます。



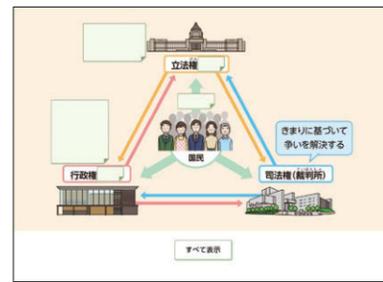
P.188-189

その他のコンテンツ例

- ・一斉授業で使いやすい「図版の単独拡大」
・読み取りに便利な「地図・グラフの凡例別表示」
・さまざまな場面で活用しやすい「NHK for Schoolリンク集」

コンテンツ例② マスク表示

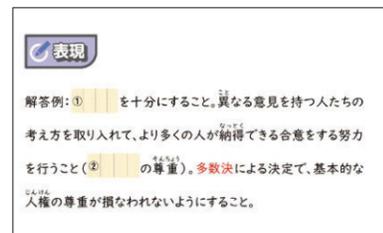
教科書中の図版を穴埋め問題にし、基礎的・基本的な知識の定着を助けます。



P.84

コンテンツ例③ 解答例表示

指導者用デジタル教材には、教科書中の問いの解答例を掲載しています。



P.85

本製品は開発中のため、記載の内容・画像は予告なく変更する場合があります。

● 日文Webサイトのご案内

日文Webサイトでは、新版教科書に関する情報や、日々の指導に役立つ様々な情報を積極的に発信しています。

📍 令和7年度版 中学校教科書 特設サイト

令和7年度から使用される新しい中学校教科書『中学社会 地理的分野』『中学社会 歴史的分野』『中学社会 公民的分野』『中学数学』『美術』『中学道徳 あすを生きる』をご案内しています。



https://www.nichibun-g.co.jp/r7js_textbooks/

- 動画 教科書や教科書QRコンテンツのポイントを短く簡潔に紹介します。
教科書のポイント 教科書の特長をポイント別にわかりやすく紹介します。
教科書QRコンテンツ コンテンツ紹介のほか、実際にコンテンツを触ることができます。
教師用指導書 各編、資料、デジタル教材など、内容や構成を紹介します。
資料ダウンロード 内容解説資料、編修趣意書、年間指導計画案などを掲載します。
表紙 各分野の表紙と、表紙デザインへ込めた思いを紹介します。
関連コンテンツ 教科書に関連する様々なお役立ちコンテンツを紹介します。
日文が大切にしていること SDGs、特別支援教育・CUD、防災・安全、道徳教育との関連、現代的な諸課題への対応など、教科を横断する取り組みについて紹介します。

📍 令和7年度版 中学校 デジタル教科書サポートサイト

令和7年度から使用される新しい中学校デジタル教科書を中心にご案内しています。



- 基本機能からオリジナルツールまでわかりやすく紹介します。
●指導者用・学習者用の内容や特長などを詳しく紹介します。
●体験版でデジタル教科書の実際の動作やコンテンツを体験できます。ご利用にあたり、ファイルのダウンロード等は必要ございません。



https://www.nichibun-g.co.jp/digital_support3/

📍 其他のおすすめコンテンツ

日文Webサイトの数あるおすすめコンテンツの中から、今回は2つピックアップします。

Webマガジン「まなびと」

美術、道徳、社会、人権、共生社会、ESD、PBL、ICTなど、様々なテーマにおいて深掘りした連載記事を中心に、定期的に更新しています。



https://www.nichibun-g.co.jp/data/web-magazine/manabito/

機関誌・教育情報

教科の機関誌、授業や指導に悩む先生方へ向けたABCシリーズ、様々なテーマを扱った教授用資料などを電子ブックやPDFで公開しています。



https://www.nichibun-g.co.jp/data/education/

●教科書検討の観点からみた内容の特色

※青字の「⇒(P.000)」は教科書のページ数です。

教科書検討の観点	内容の特色	本冊子の主な関連箇所
① 教育基本法及び学校教育法との関連		
⇒取り扱っている内容は、 教育基本法 に適合しているか。 教育基本法第2条 教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。 第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	民主主義の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などに関する 基礎的・基本的な知識及び技能 を確実に習得し、 社会的事象を多面的・多角的に考察する態度 を養うことで、幅広い知識と教養を身につけることができるようにしている。 ◆ 抽象的な社会のしくみ を確実に理解できるよう、本文が平易な表現になるよう努めるとともに、写真、グラフ、しくみ図などの図版を豊富に掲載している。 ◆ 情報を調べ、まとめる技能 を習得できるよう、特設ページ 情報スキルアップ で情報リテラシー・情報モラルなどを身につけられるよう配慮するとともに、各所で 思考ツール を用いた学習ができるよう工夫している。 ⇒ 情報スキルアップ(P.64-65、92-93)	⇒P.26-33
第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	思考力・判断力・表現力等の向上 を図りながら、自己の学習の成果を実感できる構成にしている。また、社会生活ときまりの学習などを通じて、個人の価値を尊重し、 自主及び自律の精神 を養えるように配慮している。さらに、職業を含む将来の生徒の生活についての学習で、 職業及び生活についての関心 を高め、 勤労を重んずる態度 を育てることができるようにしている。 ◆教科書全編にわたり、 社会的な見方・考え方を働かせながら課題を追究したり解決したりする問い を豊富に設け、生徒が意欲的に学習に取り組み、 主体的・対話的で深い学び を実現するようにしている。 ⇒ アクティビティ(P.9、27、47、63、87、143、177、213など) ◆生徒にとって身近な事例を使って社会生活ときまりについて学習できるようにしている。 ⇒ 本文ページ(P.24-35など)	⇒P.14-15
第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	きまりや見方・考え方の学習や、立憲主義に基づく憲法の学習を通して、個人の尊重に基づいた民主主義と法の支配の基礎を学び、人権の意義と問題を具体的にとらえさせることなどで、 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度 を養えるよう配慮している。また、 公共の精神 に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮している。 ◆教科書全編にわたり、憲法、政治、経済、国際社会の学習のなかで 人権の意義や問題 について考えることができるようにしている。 ◆特設ページ 明日に向かって(P.16-17、56-57、72-73、102-103、110-111、122-123、138-139、160-161、182-183、216-217)	⇒P.22-23
第4号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	人権、環境・エネルギー、防災・減災 について考えさせることができる記述を随所に配するとともに、地理、歴史的分野のとの連携を重視した編修をこころがけ、生命や自然を大切にすることを育てることができるよう配慮している。 ◆「人権」、「環境・エネルギー」、「防災・減災」などの資料を豊富に紹介している。 ⇒ 本文ページ(P.48-73、102-103、212-215など)	⇒P.28-29
第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	現代に受け継がれている日本と世界の多様な文化の学習を通して、 文化の意義や影響 を理解し、多文化共生社会の重要性を認識し、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、 国際社会の平和と発展に寄与する態度 を育てられるよう配慮している。 ◆国際社会共通の目標である 持続可能な開発目標(SDGs) について、考えられるよう工夫している。 ◆ 日本の伝統文化の継承と創造の意義 や、世界の中での日本の文化について取り扱っている。 ◆ 我が国の領土をめぐる問題 については、北方領土、竹島、尖閣諸島が 日本固有の領土であること を明記し、問題の現状と、我が国の平和的な解決に向けての取り組みをわかりやすく解説している。 ⇒ 本文ページ(P.194-195、196-197)	⇒P.24-25
⇒取り扱っている内容は、 学校教育法 に適合しているか。	◆ 学校教育法第30条第2項 に示された「 基礎的な知識及び技能の習得 」、「 課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等その他の能力の育成 」、「 主体的に学習に取り組む態度の育成 」が重視されている。	⇒P.5

教科書検討の観点	内容の特色	本冊子の主な関連箇所	
② 学習指導要領との関連			
⇒取り扱っている内容は、 学習指導要領 に示す目標・範囲に適合しているか。	◆学習指導要領に準拠し、 基礎的・基本的な知識及び技能の定着 を図り、 社会的な見方・考え方を働かせながら課題を追究したり解決したりする思考力、判断力、表現力等を高める学習 を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な 公民としての資質・能力の基礎を育成する内容 になっている。	⇒P.14-15	
資質・能力の三つの柱を養うための創意・工夫	⇒ 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着 を図るために、どのような創意・工夫をしているか。	◆本文は原則1授業時間＝見開き2ページとし、この見開きで何を学ぶのが 学習課題 で明確に示されている。また、右ページの側注欄には 確認コーナー 、 表現コーナー が設けられ、基礎的な知識及び技能の確実な定着をねらいとした学習活動や自分の考えを説明させる問いが提示されており、習得した知識及び技能を用いて文章化・言語化できるようにしている。 ◆ 本文 は、十分な文字量を確保し、平易な表現で、社会のしくみ、事象、考え方についての抽象的な概念や因果関係を丁寧に叙述している。 ◆ 見方・考え方コーナー を設け、学習課題の解決に向けての手がかりとなる主な「見方・考え方」の例を示している。 ◆見開きページの右端に インデックス を設け、学習している単元を常にわかるようにして、全体の中に位置づけて理解しながら、学習を進めることができる。 ◆ 公民+α (コラム)では、学習に関する事項を掘り下げる具体的な内容を取り上げて、理解を深めることができる。 ◆資料を用いた活動を示す 資料活用コーナー を設けており、必要な情報の読み取りなどの技能を高めることができる。 ◆教科書内で関連する事項どうしを結び付ける 参照ページコーナー で、多面的・多角的な見方をする中で、学習内容の定着を図っている。 ◆ 連携コーナー では、地理的分野・歴史的分野の学習とのつながりを意識した問いが示され、生徒の理解を確かなものにするともに、習得した知識を活用できるようにしている。 ◆ 情報スキルアップ によって、 情報リテラシー や、 社会的事象等 について調べ・まとめる技能を身につけることができるようにしている。 ⇒ 情報スキルアップ(P.64-65、92-93)	⇒P.10-11
	⇒ 思考力、判断力、表現力等 を養うために、どのような創意・工夫をしているか。	◆ アクティビティ、チャレンジ公民 では、習得した知識を使い、見方・考え方を働かせながら考察する問いを設けている。また、考察したことや選択・判断したことを論理的に説明したり立場や根拠を明確にして議論したりするなど言語活動に関わる学習ができるようにしている。	⇒P.14-15
	⇒ 学びに向かう力、人間性等 を養うために、どのような創意・工夫をしているか。	◆生徒が学習の見通しをもったり学習を振り返ったりすることができるよう、教科書に 単元を貫く問い (「章の問い」、「節の問い」)を構造的に設定している。 ◆各章の導入ページ 学習のはじめに では、活動を通して単元を貫く問いを立てたり、学習を見通したりすることができるよう工夫している。また、何を学ぶかをとらえるための教材として、学習内容と生徒の身近な生活を結び付けた漫画を採用しており、生徒が章の学習に取り組みやすくなるように工夫している。 ⇒ 学習のはじめに(P.6-7、24-25、38-39、82-83、128-129、170-171、188-189) ◆各章末に設定している まとめとふり振り返り ページでは、学習したことをまとめ、振り返る活動を通して単元を貫く問いに答える活動を設定している。 教科書QRコンテンツ「ポートフォリオ」 を設置しており、主体的に学習に取り組む態度の見取りを支援している。 ⇒ まとめとふり振り返り(P.22-23、36-37、80-81、126-127、168-169、186-187、220-221)	⇒P.6-7
	⇒ 見方・考え方を習得・活用 するために、どのような創意・工夫をしているか。	◆本文ページには 見方・考え方コーナー を設け、その見開きでの学習課題の解決に向けての手がかりとなる主な見方・考え方の例を示している。 ◆学習指導要領の中項目にて例示されている見方・考え方について、各編の冒頭の本文ページにて丁寧に説明しており、確実に習得し、その後の学習で活用できるようにしている。	⇒P.14-15
	⇒ 見方・考え方を働かせた主体的・対話的で深い学び を実現するために、どのような創意・工夫をしているか。	◆ アクティビティ など、本文ページの学習のなかで見方・考え方をくり返し働かせられるように工夫している。また、本文の内容に基づいた具体的な社会の課題の解決を見方・考え方を活用しながら考察、構想することができる、 チャレンジ公民 を各単元末に設けている。 ⇒ チャレンジ公民(P.34-35、78-79、124-125、184-185、218-219) ◆話し合いなどの対話的な活動が想定される問いには 学び合い マークを付している。	⇒P.14-15

教科書検討の観点	内容の特色	本冊子の主な関連箇所	
③ 構成・配列			
組織・配列・分量	⇒各編章の学習を行うのに、効果的な組織・配列になっているか。	◆各編章は導入ページ「 学習のはじめに 」で単元を貫く問いを立てたり、学習を見通したりすることができるようにしている。本文ページでの学習を終えた後の まとめとふり返し ページでは、単元を貫く問いに答える活動を行う。この構成を各内容のまとまりで一貫させることで、生徒が学習を効果的に進めることができるようにしている。	⇒ P.6-7、12-13
	⇒構成や分量は適切か。	◆配列は、「 私たちと現代社会 」「 私たちの生活と政治 」「 私たちの生活と経済 」「 私たちと国際社会 」の4編構成で、 社会の課題を自ら考え、主体的に関わろうとする態度を養える工夫 をしている。学習指導要領が示す公民的分野の授業時数100時間で授業が完結できる。	⇒ P.6-7、20-21
内容の選択	⇒現代社会の特色を理解するために、どのような内容が選択され位置づけられているか。	◆第1編第1章「 私たちと現代社会 」は、地理と歴史の学習成果を生かした、公民全体の導入と明確に位置づけている。少子高齢化、情報化、グローバル化という現代日本の特色や、 持続可能な社会 については、教科書を通して重点的に学習し、 日本の伝統・文化 の特徴を多面的に捉えて関心をもたせ、文化が現代社会を規定する大きな要因であることを理解できる。 ⇒ 伝統と文化 (P.18-23、202-203など) ⇒ 持続可能な社会 (巻頭1-巻頭2、14-15、16-17など)	⇒ P.28、28-29
	⇒政治単元では人権を中心に、どのような内容が選択され位置づけられているか。	◆第2編「 私たちの生活と政治 」では、個人の尊重を基礎として、第1編のきまりや合意する方法の学習の延長線上にある 民主主義の理解 に基づき、憲法を学習できる単元構成になっている。 ◆ 立憲主義 に基づいて民主政治が行われていることに着目させ、憲法の目的は 人権保障 であることを学習できる。基本的人権の尊重を深める学習をはじめ、個人情報保護や環境権など現代社会の人権の課題も取り上げている。 ◆ 三権分立 などの民主政治全体のしくみを理解してから、個別的に学習を深める工夫がなされている。地方自治は、地域の調査や見学などを通じて理解できる工夫をし、国政では、国会のしくみや働き、内閣では国民主権と行政との関係、裁判所では公正な裁判と人権尊重を明確にしている。	⇒P.28
	⇒法に関する内容は、どのように選択され位置づけられているか。	◆社会の変化に対応し、身近な事例から、きまりの意義や契約と責任、法による人権保障、裁判員制度などについての基礎から実践的な内容を取り上げている。	⇒P.23
	⇒経済単元では身近な経済活動と市場経済を中心に、どのような内容が選択され位置づけられているか。	◆第3編「 私たちの生活と経済 」では、 消費の学習 で、具体的事例から家計・流通・価格、市場経済の意義に関心をもって学習できる。 生産の学習 で、株式会社のしくみと企業の競争の意義、景気の問題、労働について、基礎をふまえて実践的な内容を学習できる。 金融の学習 で、金融の意義や日本銀行の役割、為替相場のしくみの基礎を学習できる。 財政の学習 で、財政のしくみを学習した上で、消費者保護、社会保障、公害対策を学び、国民生活に果たす役割を系統的に学習できる。	⇒P.27
	⇒金融に関する内容は、どのように選択され位置づけられているか。	◆金融機関や日本銀行などの基礎的な金融のしくみのほか、株式、外国為替相場、金融商品のリスクとリターンなどの実践的な内容を取り上げている。	
	⇒国際単元では平和と環境を中心に、どのような内容が選択され位置づけられているか。	◆第4編第1章「 私たちと国際社会 」では、 国家主権の相互尊重 によって、国際社会が成立していることを理解させ、国際連合のしくみと働きを学び、 国際協力の大切さ を、 日本国憲法の平和主義の精神 を生かしながら理解できるように配慮している。また、グローバル化が進み、戦争と平和・南北問題や資源・エネルギー、 地球環境問題 など多様な国際社会の問題に対して、 多面的・多角的に 考えさせる工夫をしている。	⇒ P.26、29
	⇒課題探究活動では、持続可能な社会を考えるために、どのような内容が選択され位置づけられているか。	◆第4編第2章「 私たちの課題 」では、義務教育の終了にあたって、中学校社会科三分野の学習の成果を生かしたレポート作成で、 持続可能な社会 の観点から課題を探究でき、 社会参画 する態度を養うための手掛かりとなる内容の工夫をしている。	⇒P.25
	⇒環境・エネルギーにかかわる内容は、どのように選択され位置づけられているか。	◆地球規模の環境問題に対する国際社会の取り組みや、日本のエネルギーミックスなどの課題について取り扱っており、生徒が 考察・構想 できるようにしている。 ⇒ 環境・エネルギー (P.175、212-215、218-219など)	⇒P.29
	⇒防災・減災にかかわる内容は、どのように選択され位置づけられているか。	◆東日本大震災を取り扱い、 自助・共助・公助 の観点から、 持続可能な社会 と関連付けて復興に向けて考えさせるなど、教科書の随所に公民の学習と関連した内容を設定している。 ⇒ 防災・減災 (P.11、102-103、224など)	⇒P.28

教科書検討の観点	内容の特色	本冊子の主な関連箇所		
内容の選択	⇒ 持続可能な社会、持続可能な開発目標(SDGs) にかかわる内容は、どのように選択され位置づけられているか。	◆SDGsに特に関連の深い教材については SDGsマーク を付記している。 ◆巻頭見返しにて17の目標を示すとともに、関連する内容を第1編から第4編までの学習の随所に登場させており、教科書全体を通してSDGsについて考えられるようにしている。 ⇒ 持続可能な開発目標 (巻頭1-巻頭2、14-15、16-17、191、199、216-217など)	⇒P.24-25	
	⇒我が国の国土と歴史への理解と愛情にかかわる内容は、どのように選択され位置づけられているか。	◆国歌・国旗については、 国のシンボルとして相互に尊重 することを本文に明記している。 我が国の領土をめぐる問題 については、日本固有の領土である 北方領土、竹島 に関し未解決の問題が残されていること、日本固有の領土である 尖閣諸島 に解決すべき領有権の問題は存在していないことを明記しており、竹島、北方領土、尖閣諸島を取り巻く情勢と、我が国の平和的な解決に向けての取り組みを考えさせることができる。	⇒P.31	
	⇒平和や国際理解にかかわる内容は、どのように選択され位置づけられているか。	◆日本と世界の多様な文化の学習を通して、文化の意義や影響を理解し、多文化共生社会の重要性を認識し、 我が国や郷土を愛する心情を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を育てる内容 となっている。 ⇒ 本文ページ (P.192-193、194-195、196-197)	⇒P.29	
指導計画の作成と内容の取扱いとの関連	⇒ウェルビーイングとかかわる学びについて、どのような配慮がなされているか。	◆生徒が、社会を構成する当事者として、 個人と社会の幸せのために 、多様性と包摂性のある持続可能な社会をめざして、自ら主体的に考え、学びを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力、人間性等の涵養 ができるような教材が設けられている。	⇒P.20-21、22-23、24-25	
	⇒個別最適な学び、協働的な学びについて、どのような配慮がなされているか。	◆ 個別最適な学び については、指導の個別化の実現のため、前述の 教科書QRコンテンツ「確認小テスト」 など、生徒の学習到達度に応じて教師から柔軟に提供できる多様な教材を設けている。また、第4編第2章は生徒自身が課題を発見し、探究活動を進めることを想定しており、 学習の個性化 が実現できる。 ◆ 協働的な学び については、アクティビティなど生徒同士で協働して取り組む課題を随所に設けているほか、明日に向かってやチャレンジ公民では、持続可能な社会の創り手となるべく地域社会の住民など 多様な他者と協働 して社会参画を試みる教材を複数設けている。そのような箇所には 学び合いマーク を付している。	⇒ P.16-17、20-21	
	⇒カリキュラム・マネジメントについて、どのような配慮がなされているか。	◆「法教育」「主権者教育」「消費者教育」「キャリア教育」など社会とのつながりや、道徳科との関連について関心・意欲を持って学習できるように工夫されている。 ◆学校ごとの生徒の姿や地域の実情に合わせ選択・活用できるように各種の教材が設けられている。	⇒P.22-23、36-37	
	⇒ICTを活用して学習を効果的に進められるように工夫しているか。	◆教科書紙面に 二次元コード を掲載し、発行者webサイト上で公開している動画や資料、ワークシート等のデジタルコンテンツである 教科書QRコンテンツ に生徒が主体的にアクセスできるようにしている。 ◆教科書QRコンテンツのある箇所には、 タブレットマーク を配置しその内容を示している。	⇒ P.16-17、18-19	
	⇒デジタル教科書・教材の発行予定はあるか。	◆教科書に完全に準拠し、拡大・リフロー、音声読み上げ、色の反転・配色設定、総ルビ表示といった特別支援機能を持つ 学習者用デジタル教科書 や、動画・アニメーション表示などの豊富なコンテンツを収録し、電子黒板や1人1端末などで操作することができる 指導者用/学習者用デジタル教材 の発行が予定されている。	⇒P.44-45	
	⇒情報活用能力の育成についてどのような配慮がなされているか。	◆社会科におけるICT機器を利用した学習を促進し、情報活用能力を育成できるようデジタルコンテンツを提供している。 ◆ アクティビティ など、生徒がグループ活動等を通して主体的に問題解決・探究学習を行うための教材を随所に設けている。また、そのような学習に際して、情報を整理・比較などするための 思考ツール を巻末「 思考ツールを使ってみよう 」にて豊富に紹介している。	⇒P.32	
	⇒生徒の家庭学習に対して、どのような配慮がなされているか。	◆すべての節に 教科書QRコンテンツ「イントロダクションムービー」 が用意されている。節の学習の見通しをもつにあたって役立つ教科書完全準拠の動画コンテンツで、家庭での予習にも利用できるように工夫している。 ◆基礎的・基本的な知識に関する一問一答の問題である 教科書QRコンテンツ「確認小テスト」 を用意している。答え合わせや誤答した問題の振り返りを生徒自身で行え、家庭での予習・復習にも利用できるように工夫している。 ◆ 「巻末法令集」 の日本国憲法には、難しい用語に解説を付している。また、 「用語解説」 や 「類似用語集」 を設けて、難しい用語や類似用語のちがいを解説している。 ⇒ 用語解説 (P.258-259) ⇒ 類似用語集 (P.260-261)	⇒ P.16-17、P.33	
	他分野との接続	⇒小学校社会科との連携や、生徒の発達の段階に対して、どのような配慮がなされているか。	◆導入ページ「 学習のはじめに 」では、 小学校社会科 における公民的分野に関わる学習内容を再確認できる構成にしている。 ⇒ 小学校で学習した内容 (P.7、25、39、83、129、171、189) ◆生徒が思考力、判断力、表現力等を養う学習では、空欄への記入や自由記述などの解答方式や、考えるための技能について、 発達の段階を考慮した配列 となっている。	⇒P.36-37

教科書検討の観点	内容の特色	本冊子の主な関連箇所	
他校種・他教科・他分野との接続	⇒地理的分野や歴史的分野との連携について、どのような配慮がなされているか。	◆巻頭に 地理・歴史とのつながり を設け、地理的分野・歴史的分野で学習した内容をふり返り、公民的分野での学習内容について興味・関心を喚起させるようになっている。また、巻末に世界地図と現代史年表を掲載し、 地理と歴史の知識を公民の学習に参照できる工夫 をしている。 ◆本文ページ脚注の 連携コーナー において、生徒が地理と歴史の既習事項をふり返り、活用することができる。 ⇒ 地理・歴史とのつながり(巻頭3) ⇒ 連携コーナー(地理・歴史)(P.19、59、89、119、153、193など)	⇒P.36-37
	⇒高等学校公民科との接続について、どのような配慮がなされているか。	◆巻末に 高校の公民科「公共」とのつながり を設け、高等学校公民科ではどのような学習を行っているのかの見通しを持つことができるよう工夫している。 ⇒ 高校の公民科「公共」とのつながり(巻末1)	⇒P.37
	⇒他教科との関連について、どのような配慮がなされているか。	◆巻末に 公民と他教科とのつながり を設け、公民的分野の学習内容と他教科との関連を示唆し、教材を多面的・多角的なとらえ方ができるよう工夫している。 ⇒ 公民と他教科とのつながり(巻末3)	⇒P.37
	⇒道徳教育との関連から、取り扱う内容はどのようなになっているか。	◆教科書全体が 個人の尊重の考え方を基本理念 として構成されており、取り上げられている教材は、人権尊重・男女共同参画などの観点から適切に選択されている。 ◆ ルール の学習に基礎を置き、広い視野から考え、身近なところから課題を見だし、国民権・ボランティア・NPOの学習、レポート作成の学習を通じて 社会参画 への関心や意欲を養い、 持続可能な社会 の形成に参画する態度を養えるようにしている。	⇒P.37
④ 正確性及び表記・表現			
⇒文章および図版等の表現は正確か。	◆本文や写真・グラフ・しくみ図・イラスト等の図版類すべてにわたり、内容はもとより用語の一つ一つにも細心の注意を払うとともに、 きわめて正確でかつ最新の資料 を選択している。	⇒P.10-11	
⇒カラーユニバーサルデザインや特別支援教育への対応や、表記・表現について、どのような工夫や配慮がなされているか。	◆ 特別支援教育・カラーユニバーサルデザインの専門家 の校閲を受け、すべての生徒が等しく情報を読み取ることができるように、配慮が行きわたっている。 ◆本文は、原則1授業時間＝見開き2ページとなっており、紙面は学習内容を理解しやすいように、 授業や生徒の思考の流れに即したレイアウト で構成されている。 ◆見開きページの右端には、 インデックス を設けて、 生徒が学習している単元を常に確認できる工夫 がなされている。 ◆文字は、 視認性の高さで実績のあるユニバーサルデザインフォント(UDフォント) を使用している。 ◆本文は 平易な文章 で、抽象的・網羅的な記述を避けて、 具体的に記述 している。 ◆漢字の使用は、細心の注意を払い、小学校で未習の漢字や、固有名詞などは見開き2ページの初出にふりがなを付し、読みまちがいのおそれがあるものや人名等については教育漢字であっても極力ふりがなを付して、読み取りやすくしている。 ◆ ふりがなは、大きめのゴシック体 を使っており、視認性を高める配慮をしている。 ◆ 重要語句は太字 にして、 全てふりがなが付されている 。ていねいな解説をした側注も充実し、振り返りと広がり意識した 参照ページ が随所に付され、内容理解の促進が図られている。 ◆図版には番号を付すとともに、本文にも関連する 図版番号 を添えており、 本文と図版を関連して読み取らせるよう にしている。 ◆第1～4編の編ごとに 単元の色 を統一して示すことで、現在、学習している単元がつかねにわかるようになっている。 ◆地図・グラフ等の図版類は、 カラーバリアフリーに配慮した配色 にするほか、形や模様、線の種類など、 色以外の情報でも識別できるように 配慮している。 ◆本文が22、26ポイントの2種類の 拡大教科書 の発行が予定されている。	⇒P.34-35	
⑤ 造本			
⇒大きさ・判型について	◆見開きページの情報量を充実させるため、 ワイドなAB判 が採用されている。	⇒P.8-9	
⇒印刷の鮮明さについて	◆文字や写真、イラストなどの印刷は鮮明で、読み取りやすく、生徒の興味・関心を高めることができる。	⇒P.10-11	
⇒耐久性や人や環境への配慮がなされているか。	◆製本は、 堅牢なあじろ綴じ を採用し、針金綴じよりも大きく開き、かつ閉じにくい本になっている。また、 良質で軽い紙 を使用して重量をおさえるとともに、十分な強度で裏写りが少なくなるよう配慮され、表面も汚れを防ぐよう加工している。 ◆印刷は、 植物油インキ を使用している。また、製本には化学物質過敏症の原因物質は可能なかぎり使用せず、 再生紙 を使用して人体や環境への影響を少なくしている。	⇒P.34	
⇒装丁にはどのような工夫がなされているか。	◆表紙の装丁は、現代社会、憲法、政治、経済、国際社会といった公民的分野の学習内容を想起させる写真を配置している。また、情報科、化学・技術、社会参画、多様性、グローバル化、持続可能な社会をイメージしてデザインしている。	表紙、 ⇒P.34	

日本文教出版の志 - Purpose

心が動く、その先へ。

これが好き。なんでだろう？ もっと、知りたい。
心が動く、瞬間。それは、「学び」のはじまり。

感じ、考え、想像し、表してみる。
そこから生まれる、一つひとつが、あなただけのもの。

それを贈り合ったら、うれしくなる。
心が満ちて、次の「やってみよう」が湧いてくる。
ほかの誰かと混ざり合ったら、ちがう景色が見えてくる。

そんな学びが、
あなたの、みんなの世界を耕していく。

私たちは、学びのはじまりを大切にし、
その先に広がる一人ひとりの未来をともに育みたい。

心が動く、そのそばで。

日本文教出版は創業より、子どもの中に生まれる学びを大切にしたい教科書・教材の発行に挑戦し続けてきました。
どんなに時代や社会が変わっても、大切にしたいこと。
その想いを、志(Purpose)に込めています。
私たちはこれからも、一人ひとりの心が動く瞬間に寄り添いながら、その先に広がる未来をともに育んでいきます。



● 著作者

野間 敏克 同志社大学教授
水内 俊雄 大阪市立大学名誉教授
大阪公立大学大学院客員教授
吉川 真司 京都大学大学院教授

青木 靖 鹿沼市立板荷中学校教諭
浅川 俊夫 東北福祉大学教授
五百旗頭 真 神戸大学名誉教授
池口 明子 横浜国立大学准教授
池野 範男 広島大学名誉教授
井田 仁康 筑波大学教授
市川 則文 三重大学教職大学院特任教授
一ノ瀬 俊明 国立環境研究所上席研究員
名古屋大学大学院教授

伊藤 直之 鳴門教育大学大学院准教授
井上 満郎 京都市歴史資料館館長
京都産業大学名誉教授

岩崎 圭祐 鹿児島大学助教
岩崎 奈緒子 京都大学教授
大岡 聡 日本大学教授
大西 宏治 富山大学教授
大庭 邦彦 聖徳大学教授
奥山 研司 扇町同窓学園理事長
小貫 篤 埼玉大学准教授

角田 将士 立命館大学教授
川北 稔 大阪大学名誉教授
川口 広美 広島大学大学院准教授
木原 俊行 大阪教育大学教授
金田 章裕 京都大学名誉教授
京都府立京都学・歴史館館長

熊田 禎介 宇都宮大学准教授
栗栖 薫子 神戸大学大学院教授
桑原 敏典 岡山大学学術研究院教授
國分 麻里 筑波大学教授
小長谷 有紀 国立民族学博物館名誉教授
小林 伸彦 茨城大学大学院准教授
米家 志乃布 法政大学教授
米家 泰作 京都大学大学院教授
榊原 範久 上越教育大学大学院教授
指 昭博 神戸市外国語大学名誉教授
佐藤 幸治 京都大学名誉教授
日本学士院会員

佐藤 廉也 大阪大学大学院教授
杉浦 元一 町田市立南成瀬中学校校長
杉山 勉 京都橘大学非常勤講師
鈴木 慶彦 元大阪市立野田中学校校長
周藤 芳幸 名古屋大学大学院教授
曾我 謙悟 京都大学大学院教授
高岡 裕之 関西学院大学教授
田口 紘子 日本体育大学教授
田中 佳菜子 江東区立第二大島中学校教諭
棚橋 健治 安田女子大学教授
辻中 豊 東洋学園大学学長
筑波大学名誉教授

中澤 英史 足立区立第四中学校主任教諭
長島 和広 横浜市立鴨居中学校校長
永田 成文 広島修道大学教授
橋本 康弘 福井大学教授
樋口 雅夫 玉川大学教授
藤井 譲治 京都大学名誉教授

富士道 正尋 全日本中学校長会事務局長
元小金井市立南中学校校長

二川 正浩 東京家政大学准教授
二村 太郎 同志社大学准教授
升野 伸子 昭和女子大学教授
松田 聡子 桃山学院大学教授
松本 哲治 同志社大学大学院教授
三枝 暁子 東京大学大学院准教授
水山 光春 京都教育大学名誉教授
京都橘大学教授

南迫 勝彦 広島県立広島叡智学園中学校教諭
宮口 侗迪 早稲田大学名誉教授
村山 良之 元山形大学大学院教授
森 賢士 八王子市立松が谷中学校教諭
森 実 大阪教育大学名誉教授
諸戸 彩乃 品川区立荏原第五中学校主任教諭
谷田部 玲生 桐蔭横浜大学教授
横川 和成 西脇市立西脇南中学校教諭
吉田 道代 和歌山大学大学院教授

日本文教出版株式会社
ほか2名

防災・安全教育に関する校閲

片田 敏孝 東京大学大学院情報学環特任教授
河田 恵昭 関西大学特別任命教授

特別支援教育・カラーユニバーサルデザインに関する校閲

大内 進 星美学園短期大学日伊総合研究所客員研究員
道徳教育に関する校閲

島 恒生 畿央大学大学院教授



● 教科書の表紙デザインについて

学習内容が表紙からも伝わるように写真を多く配置しています。たくさん色でまるくタイトルを囲んだデザインは多様性とそれぞれの繋がりや公平性を表現し、そこを起点に放射状に写真をあしらうことで、新しい未来へ広がっていくようにという願いを込めました。

表紙デザイン：大藪胤美(フリーズ)

SDGs：国連(<https://www.un.org/sustainabledevelopment/>) "The content of this publication has not been approved by the United Nations and does not reflect the views of the United Nations or its officials or Member States".

※本文中の「Word」の文言は、「Microsoft Word」を指します。Microsoft、Wordは、Microsoftグループ企業の商標です。Google、Googleドキュメントは、Google LLCの商標です。本資料に掲載されている会社名、製品名、ソフト名、ロゴ等は各社の登録商標または商標です。



この冊子は、植物油インキと再生紙を使用しています。

本書の無断転載・複製を禁じます。
CD22358

日本文教出版株式会社

<https://www.nichibun-g.co.jp>

大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5
TEL: 06-6692-1261 FAX: 06-6606-5171

東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16
TEL: 03-3389-4611 FAX: 03-3389-4618

九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14
TEL: 092-531-7696 FAX: 092-521-3938

東海支社 〒461-0004 名古屋市東区葵1-13-18-7F-B
TEL: 052-979-7260 FAX: 052-979-7261

北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-1-1
TEL: 011-764-1201 FAX: 011-764-0690